

令和 6 年 度

事業 結果 報告 書

社会福祉法人松江市社会福祉協議会

I はじめに	1
II 実施事業	
1. 社協運営及び機能強化	3
1-(1) 法人運営管理	3
① 理事会	
② 評議員会	
③ 監査会	
④ 正副会長会	
⑤ 経営戦略会議	
⑥ 事業推進会議	
⑦ 中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会	
1-(2) 広報	8
① 社協だより・刊行物等の発行	
② ホームページ	
③ 「しまねの社協がそこにある！～あなたに身近な島根の社協活動情報 発信サイト～」を通じた広報活動	
④ 「メールニュース まつえ社協」の配信	
⑤ Instagram（インスタグラム）公式アカウントの運用	
1-(3) 社協会費、募金等	10
① 社協会費	
② 日赤会費	
③ 共同募金	
1-(4) 研修啓発、講座	13
① 松江市社会福祉大会	
② 健康福祉フェスティバル	
③ 第76回松江市民余芸大会	
1-(5) 篤志寄付金配分事業の推進	14
1-(6) こども応援プロジェクト助成事業の推進	15
1-(7) 共同募金配分事業の取り組み（松江市共同募金委員会）	15
2. 地域福祉及び連絡調整の強化	16
2-(1) 第6次地区地域福祉活動計画進捗支援	16
2-(2) 地域福祉の推進	16
① コミュニティソーシャルワークの展開	
② 地域福祉推進会議の開催	
③ 地区社協・各種団体との連携	
④ 地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）	
⑤ 地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議	
⑥ 福祉推進員代表者会	
⑦ 福祉推進員研修会	
⑧ あったかスクラム事業の支援	
⑨ 生活再建うちクリーニング事業	
⑩ 新たなつながりプロジェクト	

2-(3) 広域福祉事業の推進	29
① 福祉サービス利用援助事業の推進	
② 法人後見事業	

3. ボランティア活動及び福祉教育 31

3-(1) コーディネート機能強化	31
3-(2) ボランティアの育成、養成	32
① 育成研修	
② 養成研修	
3-(3) ボランティアの活動支援	33
① ボランティアルームの開放、備品の貸し出し及び保険の加入促進	
② ボラカフェの開催	
③ おうち de ボランティアの実施	
④ 松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援	
⑤ 企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携、活動支援	
⑥ 松江市社会福祉法人連絡会との連携、活動支援	
⑦ 松江市建築組合青年部ボランティア活動の支援	
3-(4) ふくし教育の推進	36
3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化	37
3-(6) 松江市まめなかポイント事業の実施	37

4. 在宅生活支援事業の推進 38

4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み	38
① 地域包括支援センター事業の推進	
② 在宅医療・介護連携支援センター事業の推進	
③ 生活支援コーディネーター設置事業	
④ 認知症地域支援推進事業	
⑤ 介護者の支援	
4-(2) 各種貸付相談	49
① 生活福祉資金の貸付	
② 民生融金の貸付	
4-(3) 福祉サービス	50
① 福祉サービスの実施	

5. 公的福祉サービス受託事業の推進 51

5-(1) なごやか寄り合い事業	51
5-(2) 松江市くらし相談支援センターの運営	53
① 複合的な課題を抱えたケースに対する関係機関との連携強化	
② 生活困窮者支援に対する理解促進	
③ 就労に向けた支援の実施	
④ フードバンク事業	
⑤ 助っ人弁護士制度	
5-(3) 高齢者あんしんサポート事業	59
5-(4) 松江市権利擁護推進センターの運営	60

- ① 相談受付業務
- ② 利用促進業務
- ③ 後見人等支援業務
- ④ 広報・啓発業務
- ⑤ 地域連携ネットワークの構築

6. 介護保険関係事業の推進 68

6-(1) 松江社協介護センターの経営	68
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び総合事業	
6-(2) 美保関介護センターの経営	70
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び総合事業	
③ 通所介護事業及び総合事業	
④ 美保関介護センター地域貢献事業なごやかで買い物ツアー	
6-(3) 松南介護センターの経営	72
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び総合事業	
6-(4) 宍道介護センターの経営	73
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び総合事業	
6-(5) 介護センターの研修等の推進	74
① 介護支援専門員資質向上事業	
② 訪問介護員内部研修	
③ 居宅介護支援専門員内部研修	
④ 介護センター内部合同研修	
6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託	75

7. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進 77

7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業	77
① 松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業	
② 美保関障がい者居宅介護事業及び同行援護事業	
③ 松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業	
④ 宍道障がい者居宅介護事業	

8. 児童福祉サービスの推進 80

8-(1) 児童センター等の受託運営	80
① 八雲児童センター運営事業	
② 八雲児童・子育て事業	
8-(2) 子ども食堂の取り組み	81

9. 福祉施設等管理運営事業の受託 81

9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業	81
9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業	81

9-(3) 美保関高齢者生活福祉センター（香梅の里）管理運営事業	82
----------------------------------	----

10. 「地域共生社会の実現に向けた」地域づくり推進	82
-----------------------------------	-----------

10-(1) 重層的支援体制整備事業	82
① 多機関協働事業	
② アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	
③ 参加支援事業	
④ 地域づくりに向けた支援（すこやかライフ推進事業）	

11. 災害支援	86
-----------------	-----------

11-(1) 災害ボランティアセンター立上げ訓練	86
11-(2) 災害ボランティアセンター運営に関わる研修	86
11-(3) 能登半島地震災害ボランティアセンター支援派遣	87

組織・機構

※職員数一覧表	88
---------	----

I はじめに

令和6年1月に発生した能登半島地震によって、あらためて地域生活の中で、「つながり」ということの必要性が再認識された1年でした。一方で、地域のつながりの希薄化や物価の高騰などを背景として生活困窮や社会的な孤立、子どもの貧困や虐待、自死者の増加など地域生活課題はより一層多様化・複雑化してきています。

こうした中、本会では「地域のつながりづくり」を基本とした地域福祉活動に取り組んできました。「ふくしなんでも相談」「重層的支援体制整備事業」「権利擁護事業」「生活困窮者自立支援事業」等を実践し、複合化・複雑化した地域生活ニーズへの支援に努めるとともに、それらの課題に対応すべく本会活動方針である「あらゆる生活課題への対応」「地域のつながりの再構築」を大切にしながら、事業を展開しました。

また、松江市とともにこれからの地域福祉推進の基礎となる「第6次松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定しました。今後、経営目標や重点課題をより明確にしながら、それらを実現するため、次年度の「第6次発展強化計画」の策定につなげていきます。そして、引き続き「頼りになる松江市社協」の実現に向け、しっかりと事業を推進してまいります。

令和6年度は、以下の事業を重点的に取り組みました。

1. 地域包括支援体制実現に向けた事業の推進

本会が設置する市内14か所の「ふくしなんでも相談所」や社会福祉法人連絡会、連携薬局による「ふくしなんでも相談」など、より住民に身近な拠点で相談を受け止め、課題解決に向けた支援を行いました。6つの地域包括エリアのコミュニティソーシャルワーカーと地域包括支援センター相談員(保健師、社会福祉士、ケアマネジャー)がチームとなって、地域の困りごとを住民とともに考え、具体的な実践を展開しました。

2. 重層的支援体制整備事業の推進

既存の制度の対象となりにくいケースや、いわゆる「8050」やひきこもりなど、個人・世帯が複数の生活上の課題を抱え、課題全体を捉えて支援していくことが必要なケースに対して、断らず、まずは受け止め、つながり続ける支援体制を構築することをコンセプトに、「属性を問わない相談支援」「アウトリーチ支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の4つの支援を一体的に実践しました。

3. 権利擁護のある地域づくりの実践

松江市権利擁護推進センターを中心に、地域包括支援センター、法テラス島根などの関係機関と連携し、権利擁護サポーター養成講座、出張相談会の開催など、権利擁護に関する理解促進を図りました。また、相談から受任調整、後見人支援までのサポートを強化し、権利擁護支援の一層の充実を図りました。

4. 地域福祉活動の推進

29地区の第6次地区地域福祉活動計画の進行管理を実施しました。また、「なごやか寄り合い事業」の再開支援、「子ども食堂」運営支援、新たな居場所「ふらっと」の立ち上げなど、地域のつながりを再構築すべくソーシャルワークの手法に生かしながら実践しました。

5. 人生の最終段階での支援の充実

高齢者安心サポート事業、身寄りのない人への支援研修会の開催を通じ、これまで支援活動を推進するとともに、新たな支え合いをモデル的に実施しました。また、松江市在宅医療介護連携支援センターを中心に「人生会議・ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」の普及啓発や病病連携推進会議などで「身寄りのない人の支援ガイドライン」について検討しました。

6. 生活困窮者等への継続的支援

一人親世帯等を対象に「松江市くらし相談支援センター公式LINE」を活用し、ひとり一品運動でご寄付いただいた食料品などの提供や節約レシピのインスタグラム発信を行いました。様々な困難を抱えた方に対し、孤立することがないように関係機関と連携して「寄り添う」伴走型支援を実践しました。

7. 能登半島地震への災害活動支援

能登半島地震、奥能登豪雨災害により多くの方が被災しました。本会は能登町などの災害ボランティアセンターの運営支援を実践することで、災害支援における社協の果たす役割や災害対応機能の強化の必要性を改めて認識する機会となりました。

Ⅱ 実施事業

1. 社協運営及び機能強化

1-(1) 法人運営管理

【総務課】

社会福祉法人制度改革に沿った役員、評議員体制を構築し、法人の健全経営や、地域福祉の担い手としてふさわしい事業を確実、かつ効果的に行うために、理事会、評議員会を開催し、社協法人の意思決定を行いました。

①理事会

事業名等	内 容	質疑・意見等
第 1 回	●日 時 令和 6 年 5 月 31 日（金）10:00～ 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 出席者 総数 18 名中 18 名 監事 3 名 【議案】 ・各介護センター居宅介護支援事業運営規程の一部改正について ・各介護センター訪問介護事業運営規程の一部改正について ・各介護センター第 1 号訪問事業運営規程の一部改正について ・各介護センター第 1 号訪問事業訪問型サービス A 運営規程の一部改正について ・各介護センター障害者総合支援法居宅介護事業及び同行援護事業運営規程の一部改正について ・美保関介護センター通所介護事業運営規程の一部改正について ・美保関介護センター第 1 号通所事業通所サービス運営規程の一部改正について ・美保関介護センター第 1 号通所事業通所型サービス A 運営規程の一部改正について ・各地域包括支援センター介護予防支援事業及び介護予防ケアマネジメント事業運営規程の一部改正について ・令和 5 年度事業結果報告について ・令和 5 年度会計収支決算について ・令和 6 年度第 1 回評議員会の開催について	・子ども応援プロジェクトの支援内容と情報提供の方法について。 ・共同募金運動における職員の法人募金新規開拓、募金ボランティアによる法人募金、街頭募金、イベント募金の全市的な動きについて。

事業名等	内 容	質疑・意見等
第 1 回（続き）	・評議員の推薦について <u>以上原案どおり可決</u> 【報告等】 ・能登半島地震災害ボランティアセンター支援について	
第 2 回	●日 時 令和 6 年 12 月 12 日（木）10:00～ - 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 - 出席者 理事総数 18 名中 15 名 監事 2 名 【議案】 ・嘱託・臨時職員就業規程の一部改正について ・パートタイマー就業規程の一部改正について ・無期転換嘱託・臨時就業規程の一部改正について ・無期転換パート就業規程の一部改正について ・職員の給与に関する規程の一部改正について ・報酬費用弁償支給規程の一部改正について ・各介護センター障害者総合支援法居宅介護事業及び同行援護事業運営規程の一部改正について ・松南介護センター障害者総合支援法移動支援事業運営規程の一部改正について ・令和 6 年度会計補正予算（第 1 号）について ・自動車保険フリート契約（任意保険）の締結について ・評議員の推薦について ・令和 6 年度第 2 回評議員会の開催について <u>以上原案どおり可決</u> 【報告等】 ・美保関通所介護等事業及び松南訪問介護等事業の廃止、各介護センターの運営状況及び今後の展開について ・事業の実施状況について（認知症に関する事業、くらし相談支援センター、なごやか寄り合い事業を中心に）	・一般職の時間外勤務と同様に、支給が必要と思われる管理職特別勤務手当の支給条件について。 ・子どもの支援の寄付はどのような先からあったのか。こども食堂以外への助成について。 ・自動車保険料の改定により装備の少ない車両は高額となるため安全面からも古い車両の更新を提案。 ・通所介護の廃止に伴い実施場所の施設「香梅の里」は市の所有であると思うがどのようなになるのか。 ・くらし相談支援センターの事業内容を企業の雇用主会で社長のみなさんに説明していきたい。

事業名等	内 容	質疑・意見等
第3回（続き）	●日 時 令和7年3月21日（金）10:00～ 会 場 松江市総合福祉センター 4階 教養室 出席者 総数18名中15名 監事1名 【議案】 ・就業規程の一部改正について ・定年後継続雇用職員就業規程の一部改正について ・嘱託・臨時職員就業規程の一部改正について ・無期転換嘱託・臨時就業規程の一部改正について ・パートタイマー就業規程の一部改正について ・無期転換パート就業規程の一部改正について ・職員の育児休業及び介護休暇等に関する規程の改正について ・報酬費用弁償支給規程の一部改正について ・美保関介護センター通所介護等事業の廃止及び関連運営規程の廃止について ・松江社協介護センター居宅介護支援事業の廃止及び運営規程の廃止について ・松南介護センター訪問介護等事業の廃止及び関連運営規程の廃止について ・美保関介護センター居宅介護支援事業運営規程の一部改正について ・美保関介護センター訪問介護事業他関連事業運営規程の一部改正について ・美保関介護センター障害者総合支援法居宅介護及び同行援護事業運営規程の一部改正について ・令和6年度会計補正予算（第2号）について ・令和7年度事業計画について ・令和7年度会計予算について ・総合福祉センター清掃業務契約の締結について ・総合福祉センターエレベーター保守点検業務契約の締結について ・令和6年度第3回評議員会の開催について <u>以上原案どおり可決</u> 【報告等】 ・令和6年度法人指導監査実施結果の報告について	・介護休業の取得単位について。 ・災害ボランティアセンターで活用予定のシステム（キントーン）内容及び県社協の導入が遅れた理由について。 ・コロナ特例貸付債権管理業務における貸付金返済に対する今後の構想について。

②評議員会

事業名等	内 容	質疑・意見等
第 1 回	●日 時 令和 6 年 6 月 17 日（月）10:00～ 会 場 松江市総合福祉センター4 階 教養室 出席者 総数 23 名中 20 名 監事 2 名 【議案】 ・令和 5 年度事業結果報告について ・令和 5 年度会計収支決算について <u>以上原案どおり可決</u> 【報告等】 ・能登半島地震災害ボランティアセンター支援について ・権利擁護推進センター機関紙「まもる」について	・定額減税について ・学校に來れない児童等の支援について。 ・ヤングケアラーについて。 ・助っ人弁護士制度について。
第 2 回	●日 時 令和 6 年 12 月 19 日（木）10:00～ 会 場 松江市総合福祉センター4 階 教養室 出席者 総数 23 名中 19 名 監事 1 名 【議案】 ・報酬費用弁償支給規程の一部改正について ・令和 6 年度会計補正予算（第 1 号）について <u>以上原案どおり可決</u> 【報告等】 ・美保関通所介護等事業及び松南訪問介護等事業の廃止、各介護センターの運営状況及び今後の展開について ・事業の実施状況について（認知症に関する事業、くらし相談支援センター、なごやか寄り合い事業を中心に）	・市再任用職員の給料ベース増額幅の根拠及び遡及について ・こども応援プロジェクトの助成について、否決や減額となった場合の理由について。 ・介護人材確保について、待遇面の影響もあるので、大きな組織を使って国を動かす必要性の提起。
第 3 回	●日 時 令和 7 年 3 月 27 日（水）10:00～ 会 場 松江市総合福祉センター4 階 教養室 出席者 総数 23 名中 15 名 監事 3 名 【議案】 ・報酬費用弁償支給規程の一部改正について	特になし

事業名等	内 容	質疑・意見等
第3回（続き）	・令和6年度会計補正予算（第2号）について ・令和7年度事業計画について ・令和7年度会計予算について <u>以上原案どおり可決</u> 【報告等】 ・美保関通所介護等事業、松南訪問介護等事業、松江社協居宅介護支援事業の廃止について ・令和6年度法人指導監査実施結果の報告について	

③監査会

理事の業務執行の状況および法人の財産の状況について、監事による監査を実施しました。

事業名等	内 容	質疑・意見等
監査会	●日 時 令和6年5月22日（水）9:00～ - 場 所 松江市総合福祉センター 会議室 - 内 容 令和5年度 事業報告、会計収支決算監査	・事業報告書、財務諸表正確であり不正の点なし

④正副会長会

事業名等	内 容
第1回	●日 時 令和6年5月23日（木）11:30～ - 会 場 松江市総合福祉センター 会議室 - 出席者 会長1名、副会長2名 ・第1回理事会議案・第1回評議員会議案等について
第2回	●日 時 令和6年12月3日（火）11:00～ - 会 場 松江市総合福祉センター 会議室 - 出席者 会長1名、副会長2名 ・第2回理事会・第2回評議員会議案等について ・美保関通所介護等事業及び松南訪問介護等事業の廃止、各介護センターの運営状況及び今後の展開について
第3回	●日 時 令和7年3月27日（木）11:15～ - 会 場 松江市総合福祉センター 会議室 - 出席者 会長1名、副会長2名 ・第3回理事会・第3回評議員会議案等について

⑤経営戦略会議

管理職において、毎月第 1 水曜日に事業経営管理（マネジメント）及び各課事業の着実な執行、運営管理のための方針や事業展開について検討しました。

⑥事業推進会議

専務理事、事務局長、各課の課長、係長が参加し、毎月第 4 水曜日に各課が年度当初にあげた重点事業について、事務局長や他課からの意見を伺いながらその進捗管理を行い、社協全体で情報を共有しました。

事業名等	回数	内 容
事業推進会議	12 回	重点事業進捗管理と情報の共有

⑦中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会

中国及び四国地域の都市社協で構成し、情報発信や提言・提案活動を展開することで、地域福祉の本格的な推進と社協組織の基盤強化を図ることを目的とし設置している「中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会」に参画し、研修会に職員が参加をしました。

事業名等	内 容
総会	●日 時 令和 6 年 10 月 18 日（金）付 書面による審議 内 容 ・第 61 期事業報告及び決算、第 62 期事業計画（案）及び予算（案）、規約の一部改正について
研修会	●日 時 令和 7 年 2 月 7 日（金）13：30～15：30 場 所 オンライン開催（総合福祉センター会議室） 参加者 本会より 6 名参加 内 容 【講演会】 「権利擁護支援と社会福祉協議会の役割について」 講師 同志社大学社会学部 教授 永田 祐 氏

1-(2) 広報

【総務課】

①社協だより・刊行物等の発行

「まつえ社協だより」を年 6 回公民館・自治会町内会を通じて各世帯に配布し、福祉情報の提供を行うとともに、社協活動への理解と協力を求めました。また視覚障がい者の方に向けても、よりわかりやすい情報提供ができるよう音訳及び点訳版を発行しました。

年 6 回発行（5 月・7 月・9 月・11 月・1 月・3 月）A4 版 白黒 6 ページ

巻数	発行月	発行部数	表紙の内容
第 151 号	令和 6 年 5 月	1 号につき 77,900 部 (音訳) 140 部 (点訳) 70 部	福祉活動紹介 (なごやか寄り合い事業・子育て支援事業)
第 152 号	令和 6 年 7 月		能登半島地震支援
第 153 号	令和 6 年 9 月		赤い羽根共同募金運動 10 月 1 日スタート (まちがいさがし)
第 154 号	令和 6 年 11 月		ふくしなんでも相談連携薬局
第 155 号	令和 7 年 1 月		松江市社協から新年のご挨拶
第 156 号	令和 7 年 3 月		オール美保関スマイル隊

②ホームページ

ホームページによって、社協の組織、事業、イベント、地区社協の活動など様々な情報をタイムリーに発信するように努めました。今年度、ユーザー数は大きく増加しました。

項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
ユーザー数	—	34,090 件	30,069 件
アクティブユーザー数	50,123 件	—	—
新規ユーザー数	49,091 件	—	—

※アクティブユーザー数：目的のページからさらにリンク先へアクセスするなどしたユーザー数（新規ユーザー数含）

※新規ユーザー数：新規にアクセスしたユーザー数

③「しまねの社協がそこにある！～あなたに身近な島根の社協活動情報発信サイト～」を通じた広報活動

社会福祉協議会の役割や活動を P R するため、島根県内のすべての社協（県社協、19 市町村社協）合同の情報発信サイト「しまねの社協がそこにある！」の運用が令和 4 年 7 月から始まりました。地域福祉の推進役を担う「社協」の存在を多くの方々に知っていただくため、本会でも下記の記事を提供し掲載されました。

掲載提供月	記事内容
令和 6 年 6 月	地域の支えあいの活動（権利擁護の取組）に参加してみませんか？
令和 6 年 7 月	松江市社協 『インスタ、始めたってよ。』
令和 6 年 8 月	魚瀬地区「なごやか寄り合い」～笑って話して介護予防～
令和 6 年 8 月	自分たちができることを考えよう～島根中学校 3 年生による地域実践～
令和 6 年 8 月	“みんなのちょこっと美術展”を開催いたしました！
令和 6 年 10 月	町内福祉連携～ざっくばらん会議～
令和 6 年 11 月	みんなでやらいこい！市民ワークショップを開催しました

掲載提供月	記事内容
令和 6 年 12 月	「みんなのカフェ kiramachi」オープン
令和 7 年 1 月	“人生会議（ACP）” 市民公開講座を開催しました！
令和 7 年 1 月	「ひとり一品運動」へのご協力をお願いいたします！！
令和 7 年 2 月	閉店したコンビニの商品のゆくえ
令和 7 年 2 月	こども食堂紹介パネルを作成しました！
令和 7 年 3 月	「オール美保関スマイル隊」始動

④「メールニュース まつえ社協」の配信

本会が行っている取り組みや情報などをタイムリーに周知するため、メール配信に取り組みました。配信先は各地区社会福祉協議会(公民館)、行政、関係機関、他市町村社協等です。

○配信回数：12 回（毎月 1 回）（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）

⑤ Instagram（インスタグラム）公式アカウントの運用

幅広い世代に向けて本会の存在と活動を PR するため、写真や動画をメインに投稿する SNS の一つ Instagram（インスタグラム）にて、公式アカウントを令和 6 年 3 月に開設しました。

各部署から記事を募り、令和 6 年度は定期的に投稿を行い、フォロワー数も増加してきました。

○累計記事投稿数：166 件

○フォロワー数：184 人（令和 7 年 3 月 31 日現在）

1-(3) 社協会費、募金等

【総務課】

①社協会費

5月から市内町内会自治会等にご協力をいただきながら社協会員を募集し会費を納入していただきました。

◆令和 6 年度 社協会費

（単位：円）

区 分	件 数	金 額	R5 年度実績
一般会費	805 自治会	22,726,651	24,060,775
特別会費	27 件	73,000	57,000
団体会費	67 件	276,000	264,000
法人会費	109 件	595,000	585,000
計		23,670,651	24,966,775

※一般会費とは 1 世帯当たり 800 円 ※特別会費とは個人で一口 2,000 円以上

※団体会費とは福祉施設対象で一口 3,000 円以上 ※法人会費とは企業対象で一口 5,000 円以上

②日赤会費

5月の赤十字運動月間を中心に、市内町内会自治会の方々のご協力により、会員へのご加入と会費のお願いをしました。日本赤十字社島根県支部松江市地区長 上定昭仁(市長)

◆令和6年度 日赤会費

(単位：円)

区 分	件 数	金 額	R5 年度実績
普通会費	795 自治会	18,400,395	19,238,950
特別会費	23 件	93,000	74,000
法人会費	100 件	691,000	676,000
計		19,184,395	19,988,950

※普通会費とは1世帯当たり700円以上

※特別会費とは個人1回2,000円以上で積立20,000円以上 ※法人会費とは企業対象

③共同募金

今年度も多くの市民や関係団体の協力得て、10月1日から12月31日（テーマ募金は1月1日から3月31日）まで共同運動を展開しました。

今年度は街頭募金をはじめとし、戸別募金、法人募金など例年実施している取り組みを期間通じて行いました。

物価高騰、協力自治会の減少など様々な理由により募金総額は前年度に比べ減額となりましたが、グッズを通じての募金は協力依頼を強化した成果もあり、昨年度より増額となりました。

今年度は、お寄せいただいた募金を活用した地域の事業をスライドショーにして福祉大会等で紹介したほか、社協だより等を活用して共同募金運動の周知を行いました。

◆令和6年度共同募金

(単位：円)

区 分	件 数	金 額	R5 年度実績
戸別募金	767 自治会	18,695,640	19,658,676
街頭募金(主に募金箱)	63 カ所	451,349	402,550
法人募金	296 件	1,553,000	1,807,000
学校募金	38 校	641,953	581,053
職域募金	82 件	760,040	861,366
イベント募金	33 件	1,260,506	1,673,735
物品募金	112 件	944,055	753,850
個人募金・その他募金	126 件	815,223	995,957
テーマ募金	48 件	696,386	902,000
計		25,818,152	27,636,187

◆募金活動

募金種別	内 容
戸別募金	①各地区自治会・町内会連合会長を通して、各地区世帯へ依頼。 ②随時、各公民館区で協力依頼を実施。
街頭募金等	①10月1日一斉街頭募金 参加者 188名 ②常設募金箱 ・由志園 ・カフェ太郎 ・島根県物産観光館 ・宍道健康センター ・ストリーム ・(有)松江クロード ・From40・CafeBrownie ・カナツ技建工業（株） ・社会保険労務士法人村松事務所 ③運動期間中設置場所 ・各公民館 ・宍道健康センター・(有) 白銀屋（アイパルテ）
法人募金	①企業等へダイレクトメール ②事務局による訪問及び協力依頼 ③地区社協選出の募金ボランティアによる訪問及び協力依頼
学校募金	①市内小中学校にドラえもん募金箱等を配布し協力依頼 贈呈式の実施 12校
職域募金	①図書カード・クオカード等を通じた募金依頼 市関係機関、民児協、学校教職員、企業、福祉団体等訪問依頼
イベント募金	①公民館文化祭等行事 ②各種団体開催イベント ③松江市民余芸大会
物品募金	①県共募製作のピン・缶バッジ、エコバッグ、園山俊二シリーズのグッズ （既存作成分）について公民館、事務局等を窓口とし募金を呼びかける 他、職域募金にあわせ市関係機関、学校教職員、企業、福祉団体等訪問 依頼 ②ガチャガチャ（ピン・缶バッジ）の常設設置 ・松江歴史館 ・玉造温泉ゆ〜ゆ ・堀川遊覧船事務所 ・松江フォーゲルパーク ・松江クロード （フォーゲルパーク、クロードについては今年度オリジナルバッジを作成）
個人募金・ その他募金	①募金百貨店プロジェクト 7企業 ②赤い羽根自動販売機 13カ所 ③個人等その他
テーマ募金	①団体名：フードバンクしまね あったか元気便 事業名：フードバンク宅配事業 （子育て支援及び児童健全育成に関する活動）

◆社協会費、日赤会費、共同募金の推移

(単位：円)

区 分	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度
社協会費	23,670,651	24,805,769	25,334,942	26,572,634	27,003,035
日赤会費	19,184,395	19,988,950	21,121,830	21,362,220	21,927,636
共同募金	25,818,152	27,636,187	25,884,800	26,784,806	26,496,037
計	68,673,198	72,591,912	72,341,572	74,719,660	75,426,708

1-(4) 研修啓発・講座

【総務課】

①松江市社会福祉大会

事業名等	内 容
松江市社会福祉大会	●日 時 令和 6 年 11 月 22 日 (金) 13 : 30～15 : 30 会 場 島根県民会館 中ホール 内 容 【表彰式典】(会長表彰及び感謝状贈呈) ・民生委員・児童委員功労 4 名 ・福祉推進委員功労者表彰 20 名 ・社会福祉施設及び団体役員功労者表彰 16 名 ・社会福祉施設及び団体職員功労者表彰 46 名 ・社会福祉施設及び団体優良活動表彰 3 団体 ・松江市社会福祉協議会長感謝(個人) 13 名 【記念講演】 「現代の思春期・青年期の問題を考える —共同体の変化という視点から—」 講師 島根大学 人間科学部 教授 岩宮 恵子 氏 参加者 280 名

②健康福祉フェスティバル

【地域福祉課】

市民だれもが健やかに生きがいをもって社会参加できるよう、健康づくり、福祉やボランティアについて、幅広い世代に向けて意識啓発を行うことを目的に「2024 健康福祉フェスティバル」を開催しました。

事業名等	内容
2024 松江市健康福祉	●日時 令和 6 年 6 月 30 日 (日) 9:00～15:00 会場 松江市総合体育館

フェスティバル	内容 各種コーナー ・販売コーナー ・活動、展示コーナー ・健康、体験コーナー ・相談コーナー ・ステージイベント 出展団体 49 団体 述べ入場者数 約 2,000 人 ※「ボランティアフェスティバル」との合同開催、「松江体育協会創立 100 周年記念事業 子どものためのスポーツ見本市」「レクリエーション・スポーツフェスティバル」との同時開催
---------	--

③ 第 76 回松江市民余芸大会

【地域福祉課】

公募による出演者と多くの市民の皆様にご協力いただき、手作りの余芸大会として松江市・山陰中央新報社との 3 団体共催により開催しました。

この事業の収益金は松江市共同募金委員会へ全額寄付しました。

事業名等	内 容
第 76 回松江市民余芸大会	●日 時 令和 6 年 12 月 14 日（土）13:00～17:00 会 場 島根県民会館 大ホール 出演団体 15 団体 来場者数 約 1,200 人 チケット代 1 枚 1,800 円(当日券 2,000 円) 収益金 1,136,570 円

1-(5) 篤志寄付金配分事業の推進

【総務課】

篤志寄付金は、市民の皆様からの香典返しを中心とした寄付金をお預かりし、社会福祉事業を行う地区社協や福祉団体・ボランティア団体、松江市社会福祉協議会の事業に配分し、地域福祉の推進に役立てられました。

葬儀の規模・形態が変化していること等から香典返し寄付金が減少傾向にありますが、ホームページ、社協だよりへの記事の掲載、中央郵便局でのデジタルサイネージによる動画配信の他、市内葬儀社を訪問し、説明チラシの配布等の広報活動を継続的に行いました。

(収入)

単位：円

区 分	R 6 年度		R 5 年度	
寄付金収入	829 件	21,086,376 円	921 件	24,490,000 円

(支出)

区 分	R 6 年度		R 5 年度	
福祉団体助成金	43 件	3,626,879 円	34 件	3,117,898 円
地区配分金	29 件	10,543,188 円	29 件	12,225,000 円

区 分	R6 年度		R5 年度	
地域援助費	52 件	3,951,827 円	47 件	3,665,864 円
助成金支出	6 件	110,000 円	6 件	170,000 円
社協事業費支出	1 件	1,000,000 円	1 件	1,000,000 円
事務費支出		1,062,734 円		1,019,220 円
計	131 件	20,294,628 円	117 件	21,197,982 円

(収支)

資金収支差額	791,748 円	3,292,018 円
次期繰越金	22,876,248 円	22,084,500 円

1-(6) こども応援プロジェクト助成事業の推進

【総務課】

近年、こども食堂をはじめとしたこどもの居場所づくりに関心が高まり、個人や団体からのこども向け事業へ活用を希望する大口寄付が増加しました。寄付者の意向に沿った活用をするため、令和 5 年度に「こども応援プロジェクト」助成事業を立ち上げ松江市内のこども向け事業を営む団体へ助成し、地域のこどもの未来を応援する機運の高まりを推進しました。

(収入)

単位：円

区 分	R6 年度		H29 年度～R5 年度	
寄付金収入	13 件	2,192,700 円	29 件	3,933,152 円

(支出)

区 分	R6 年度		R6 年度	
助成金	16 件	710,000 円	6 件	273,282 円

(収支)

資金収支差額	1,482,700 円	3,659,870 円
次期繰越金	5,169,789 円	3,659,870 円

1-(7) 共同募金配分事業の取り組み（松江市共同募金委員会）

【総務課】

NPO 法人、ボランティア団体等の活動支援（地域福祉活動推進事業）を目的に配分金について公募し、審査を行いました。【令和 6 年度募金（令和 7 年度事業）】

◆地域福祉活動推進事業（公募配分）

決定総額 900,000 円

	申請団体名	事業名
1	松江市民生児童委員協議会連合会	松江市民生児童委員協力員制度新設事業

	申請団体名	事業名
2	特定非営利活動法人 プロジェクトゆうあい	バリアフリーマップ「てくてくマップ」 改訂版の作成・発行
3	松江おもちゃの病院	おもちゃの電子回路&プログラム勉強会
4	だんだんパソコン倶楽部	子どもの学習ひろば作り
5	淞北台いきいきライフを推進する会	そば打ち用具整備事業

2. 地域福祉及び連絡調整の強化

2-(1) 第6次地区地域福祉活動計画進捗支援

【地域福祉課】

第5次（令和元年～5年）の評価、課題整理を行うとともに、松江市内の29地区では第6次地区地域福祉活動計画（令和6年～10年）が策定されました。地区社協会長会ではこれらの計画を基に第6次松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に関する提言書を作成し、松江市社会福祉審議会に提言しました。

2-(2) 地域福祉の推進

【地域福祉課】

①コミュニティソーシャルワークの展開

令和元年度からコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を各包括支援センターと同じ事務所に配置することで、より住民の身近な場所で相談を受ける体制をつくりました。特に専門窓口の制度やサービスにつながるまでの支援、地域の民生児童委員等との連携が必要なケースにおいては、実態把握のための訪問や連絡調整などの役割を果たしました。また、地域で必要な社会資源の開発（移送支援、買い物支援、居場所づくりなど）を行いました。

◆CSWにおける個別ケースへの支援状況（6エリア合計）

支援内容	実績
個別支援ケース実数	126人
個別支援ケース延べ対応数	407回
関係機関や関係者に対して行った働きかけ	271人

◆CSWにおける地域での新たな取り組み

○中央地域包括支援センターエリア

【城西もりもり食堂】（城西地区）

城西公民館を会場に、地域の誰もが「食」を通じて交流できる居場所として、城西もりもり食堂が令和6年12月にスタートしました。CSWは立ち上げ前から運営者と協議を重ね、仲間集め・助成金申請・場所の確保・住民への周知などをサポートしながら一緒に取り組みを進めました。

た。

毎回約 40 名の参加があり、こどもから高齢者まで幅広い世代の方々が集う居場所となりつつあります。ある開催日、乳児を連れてお母様が参加された際、先にご飯を食べ終わった高齢の参加者が乳児をあやす場面に遭遇しました。両者はその場で初めて顔をあわせたようでしたが、お母様はその間ゆっくりとご飯を食べることができ、高齢の参加者も乳児を抱きながら穏やかな表情を浮かべておられ、まさしく地域の台所として定着しつつあると感じました。

また、松江市こども家庭センターと連携し、地区内のヤングケアラー世帯にも城西もりもり食堂の情報提供を行いました。この取り組みが孤立・無縁社会と呼ばれる現在の地域社会にとって解決の糸口になることを願っております。

【東朝日町市営アパートの居場所づくり】（朝日地区）

朝日地区最東端にある本アパートは住民の高齢化が急速に進み、独居者も多くおられます。認知症や介護が必要な方など深刻な状況になって中央包括に相談がつながるケースが相次いでいました。

住民間の交流はコロナ禍を境に減っていたため、アパート内の福祉推進員や自治会とともになごやか寄り合いの再開に向けた取り組みを行いました。令和 6 年度は 9 月と 12 月に開催し、参加者同士が会話に花を咲かせておられました。開催にあわせてふくしなんでも相談と健康相談を実施し、住民の困りごとや介護保険に関する疑問に応じました。

今後担当地区民生児童委員と福祉推進員との仲介を図り、アパート内の見守り体制づくりに向けた取り組みを進めていく予定です。

○松北地域包括支援センターエリア

【だれでも食堂ほっき立ち上げ支援】（法吉地区）

令和 6 年 4 月より、誰もが集いつながれる居場所の 1 つとして、「だれでも食堂ほっき」がスタートしました。地域住民、地区内の学校などに周知を行い、毎月賑やかに開催されています。だれでも食堂ほっき運営委員会での意見交換や、県社協へ地域共生社会創造助成金の申請を行うなど運営体制も整え、持続可能な形となりました。今後も地域の居場所として工夫を重ねながら、実施される予定です。

【新たな居場所づくり ようこそ、ござっしやい☆ふらっと☆】（松北エリア全体）

ふくしなんでも相談では、「ひきこもり」に関する内容が増加傾向にあります。ここ近年ひきこもり家族の集いや UX（生きづらさを抱えた当事者）会議の林恭子さんをお招きしたひきこもり講演会、市や県の相談機関との意見交換を行ってきました。そのような中で、ひきこもりに関心のある方、当事者、ご家族、どなたでもふらっと立ち寄りつながることができる居場所が必要と考え、令和 6 年 8 月 12 日より鹿島町内の古民家あいえんきえんを会場に 2 か月に 1 回の頻度

で取り組みを始めました。今年度は 4 回開催し、当事者、経験者、ご家族、地域住民、福祉関係者延べ 37 名の方にご参加いただきました。

令和 7 年度も居場所の継続とともに啓発の取り組みとして、9 月に鹿島公民館を会場にひきこもり研修会を開催し、ひきこもりへの理解や市内の活動紹介や交流会企画を実施することにしていきます。

○松東地域包括支援センターエリア

【自分たちができることを考えよう～島根中学校 3 年生による地域実践 in なごやか寄り合い～】 (島根地区)

「中学 3 年生の総合的な学習の集大成として、地域への恩返しをテーマに地域活動をしたい」という島根中学校の先生と学校支援コーディネーターからの相談がきっかけで、地域貢献をテーマとした総合的な学習がスタートしました。協議をする中で、「地域の高齢者が集う場に、実際に出向いて交流しながら何かができれば」と話があり、なごやか寄り合いでの地域活動がスタートしました。生徒は各グループにわかれ、実際に島根町内のなごやか寄り合いに出かけ、地域の高齢者等とふれあいながら「自分たちができること」を考え実践していくこととなりました。5～6 月にかけて、「大津ほほえみの会（加賀地区）」では保健師や世話人さんの手伝いをしたり、「お達者くらぶ（加賀別所）」では一緒に花植えをして参加者のみなさんと交流を深めました。また、「岩木西しあわせ会（加賀地区）」では生徒が世話人会に参加し、自分たちが地域の高齢者のみなさんに伝えたいことを説明しました。こうして生徒たちは「クイズで防災や健康づくりの大切さを伝える」「手軽にできる運動と一緒に取り組む」などの企画を考え、7 月のなごやか寄り合いで実施することとなりました。どのなごやか寄り合いでも「地域の高齢者のみなさんを元気に笑顔にしたい」という思いによって、参加者のみなさんを笑顔にすることができました。参加者や世話人のみなさんから「中学生がいるだけで明るくなって元気がもらえる」「防災の役に立つ情報をもらえた」「小さい頃から知っている子たちが大きく成長している姿に感動した」などの声をいただきました。

【住民主体型有償ヘルプサービス「オール美保関スマイル隊」】（美保関地区）

「年を重ねても住み慣れた美保関町でいきいきと住みたい。」そんな願いから、地域住民同士の支え合いによってちょっとした困りごとを支援する、住民主体型有償ヘルプサービス「オール美保関スマイル隊」が令和 6 年 11 月よりスタートしました。

美保関町では高齢化の進行とともにひとり暮らしや 2 人暮らしの高齢者が増え、従来できていたことができなくなり困っている方が多くおられました。そのような方々へのサポートを望む声があったことから、令和 5 年度より有償ボランティア組織の立ち上げについて検討してきました。

令和 6 年 5 月から協力隊員等募集の呼びかけを行い、29 名の有志の方々が集まりました。利

用会員宅へ伺い、草刈りや電球・電池交換、室内外の簡単な修理、墓掃除など「ほんの少しの暮らしの手伝い」が始まり、利用者からは大変喜ばれています。12月の「オール美保関スマイル隊」結団式では、協力隊員が集い活動への熱い想いや抱負を語り合いました。「安心して暮らせる地域・充実した生活ができる町」を目指して新たな取り組みが始まった美保関町ですが、今後とも地域住民のみなさんとともに各関係機関で協力・連携しながら活動をしていきたいと思っています。

○湖南地域包括支援センターエリア

【出張ふくしなんでも相談所の開設】(宍道地区・玉湯地区・忌部地区・乃木地区)

住民の身近な場所で相談を受ける体制を強化のため、宍道、玉湯、忌部の各々の公民館で開催されている「公民館喫茶」で出張ふくしなんでも相談所を開設し、20件の相談を受けました。相談内容は住民や民生児童委員、福祉推進員からの新規相談、支援経過報告、なごやか寄り合い運営についてなどの話を受けております。

【学校との連携】(乃木地区、忌部地区)

乃木地区において松江農林高校の生徒と地域で出かける機会がなくお困りの方とで学校の農場を活用した交流事業として『農林高校ふれあい広場』を実施しています。毎月1回の活動で花や野菜の種植えからスタートし、収穫した野菜を使って調理、近隣の保育所との交流会等を通して交流を図りました。また、忌部地区において忌部小学校5年生を中心に、地域・住民との交流事業として『小さな輪の会』実施し、地域から約30名の方にご参加いただき、今年度は小学校の児童からの提案でニュースポーツでの交流を図りました。

【玉湯地区内福祉施設連携事業～ざっくばらん会議～】(玉湯地区)

玉湯地区内の福祉施設で働く職員同士の顔がわかる関係づくりを図るために「ざっくばらん会議」を開催し事業所の課題や情報交換、研修会の企画などざっくばらんに話し合いました。今年度は地区社会福祉協議会と連携し地域住民に対し車いすやアイマスクの体験会を実施しました。

○松南第1地域包括支援センターエリア

【津田の里学習室利用】(津田地区)

令和6年度から特別養護老人ホーム「津田の里」では、コロナ禍により4年間委員会が休止になっていた地域連携委員会が再開されました。この委員会には近くの自治会から自治会長、なごやか会長、民生委員等地域の方も参加され、地域課題や津田の里地域交流スペースの活用方法等が話し合われました。その中で、こども食堂の実施や松江第四中学校生徒を対象とした、学習室としての利用を提案しました。実際に令和6年11月から3年生を対象に地域交流スペースを学習室として開放し、1日最大8名の利用があった日もありました。受験シーズンということもあり、開放日に毎回欠かさず参加された生徒もおられ、需要の高さもうかがえた結果になりました。

た。令和 7 年度は利用対象を 1～3 年生とし、まずはテスト期間中に開放する予定としています。

【こども食堂 陽なた食堂立ち上げ支援】（大庭地区）

「こども食堂がやりたい」という一人の地域住民の想いから立ち上がったのが『陽なた食堂』です。毎月第 3 土曜日に大庭西公民館で実施しています。陽なた食堂は世代間交流食堂と銘打っており、近くの公営住宅在住の独居高齢者も集う場所となり孤食対策にも一役買っています。今後も多世代交流の場として、地域の居場所となっていくことが期待されます。CSW としては公民館や地域との繋ぎをはじめ、助成金の申請や必要物品の調達を支援しました。

○松南第 2 地域包括支援センターエリア

【こども食堂 ちくやごめた食堂継続・拡大支援】（竹矢地区）

令和 5 年 7 月より毎月第 3 土曜日に、地域の子どもから高齢者まで誰でも集って一緒にご飯を食べて楽しむことができる居場所として、竹矢公民館を会場に開催しています。令和 6 年度は、竹矢地区第 6 次地域福祉活動計画の策定委員から出た「竹矢公民館まで行きにくい人の為に、公民館以外の身近な場所での開催をして欲しい」との声に応じて、矢田公民館で令和 6 年 8 月 28 日（水）と令和 7 年 3 月 29 日（土）の 2 回開催しました。矢田公民館での開催にあたっては、矢田自治会、高齢者クラブの方々がチラシ配布、会場準備、調理、送迎などスタッフとして協力頂き、ちくやごめた食堂の活動がより広く周知され、新たな活動者の発見の機会となりました。

【新たな居場所 子ども食堂（もくもく食堂）プレ開催】（八雲地区）

令和 6 年度は 8 月 26 日（月）と 11 月 16 日（土）に、子ども食堂をプレ開催しました。両日も公民館事業とコラボして開催しました。

8 月 26 日（のびのびやくもっ子・寿大学とコラボ）参加者・・・70 名

11 月 16 日（八雲青少年育成の会・公民館福祉部）参加者・・・80 名

今後の展開方法については、プレ実施の状況を振り返り検討をしていくことにしています。

【みんなのカフェ kiramachi（ボランティア喫茶）オープン】（東出雲地区）

令和 6 年 10 月 1 日（火）から、ヨリアイナーナ東出雲の交流スペースを会場に月 2 回カフェをオープンしています。月 2 回のうち 1 回を公民館主催で、もう 1 回は地区社協主催で実施しています。ここに来れば「出会いがある」、「安心できる」、そんな心安らぐ場所となりました。友だちと待ち合わせておしゃべりしたり、一人で本を読んだり、過ごし方はそれぞれですが、地域の皆さんが寄り合う場所として毎回約 50 人の方が参加されています。新規事業として取り組むなか、新たな運営協力者の顔も見え、人材の発掘にも繋がりました。

②地域福祉推進会議の開催

令和 6 年度においては、3 か月ごとに地域福祉推進会議を開催しています。ここではグループリーダーと CSW から地域づくりやまちづくりの進捗状況を報告し、地域課題や進め方について社協内で横断的に協議・情報交換等を行っています。

③地区社協・各種団体との連携

福祉推進員や民生児童委員との連携を図り研修会や勉強会を開催しました。

ア) 地区研修会（地区社協と協力して実施）

「見守りについて」「なごやか寄り合い事業立ち上げについて」等、各地区で研修会を開催しました。

イ) 地区活動の支援

各地区で地区地域福祉活動計画に基づき実施された事業について振り返りなどを行いながら実践につなげました。

ウ) 民生児童委員協議会への参加

毎月開催された民生児童委員協議会常務会、地区民生児童委員協議会定例会に職員が出席し、情報交換や連携の促進に取り組みました。

④ 地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）

住み慣れた地域において住民が主体となって、乳幼児から高齢者、障がい者など日常的に援助を必要とする人々への保健・福祉活動を推進するとともに福祉コミュニティの形成を図ることを目的として、各地区社協が実施する地域福祉事業の経費を一部助成することで、地区社協活動を支援し地域福祉の推進に寄与しました。

ア) 必須事業

地域における要援護者に対する見守りネットワークを形成するとともに、必要な支援活動を行う地区に対し助成を行い、活動の助言・協力を行いました。

イ) 重点・選択事業

地域住民の保健、福祉を増進するための活動として、さまざまなメニューの中から地域の実情にあわせ選択された活動に対し助成を行い活動の助言や支援を行いました。

事業名等	内 容	地区数	金 額
必須事業	1 地区社協 100,000 円	29 地区	2,900,000 円
重点・選択事業	1 地区社協 300,000 円	29 地区	8,700,000 円
合 計			11,600,000 円

◆重点・選択事業の内容一覧

地区名		重点事業	選択事業
松東エリア	川津	①健康づくり活動の推進 (健康まつえ 21 川津地区推進隊) ②社会的孤立の予防・居場所づくりの推進	①福祉の集い&チャリティー古本市 ②広報活動 ③子育て支援
	朝酌	①健康まつえ 21 推進隊活動 ②介護予防の健康づくり活動	①子育て支援事業 ②地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活動
	本庄	①健康づくり (健康まつえ 21 推進隊事業) ②民生児童委員・福祉推進員合同研修 ③子ども居場所づくり事業	①なごやか寄り合い事業
	持田	①健康づくり事業 ②なごやか寄り合い支援事業	①配食サービス ②やすらぎ喫茶事業
	島根	①健康まつえ 21 推進事業	①地域ボランティア活動 ②地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活動
	美保関	①健康づくり活動の推進 (健康まつえ 21 計画の推進) ②社会的孤立の予防・居場所づくりの推進	①子育て支援活動 ②障がい児(者)の社会参加をすすめる活動 ③地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活動
	八束	①健康まつえ 21 推進事業 ②高齢者ふれあい事業「まめだ会」	①ふれあい訪問 ②子育て支援事業 ③地域交流サロン
中央エリア	城北	①健康づくり活動の推進	①障がい児(者)の社会参加をすすめる運動 ②ミニデイサービス<お楽しみサロン>の開催 ③地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活動
	城西	①健康づくり活動の推進 ②社会的孤立の予防・居場所づくり推進事業	①ふれあい会食サービス・ミニデイの開催 (なごやか寄り合い) ②子育て支援活動

地区名		重点事業	選択事業
	城東	①健康づくり事業 ②介護予防・閉じこもり予防の推進	①防災に関する事業 ②子育て支援事業 ③地域福祉計画推進事業
	白潟	①健康づくりの推進 ②介護予防・閉じこもり予防の推進事業	①友愛訪問事業 ②障がい児（者）の社会参加をすすめる活動 ③なごやか寄り合い事業 ④福祉だよりによる広報啓発活動事業
	朝日	①健康づくり活動の推進（健康まつえ21計画の推進） ②地域で支え合い閉じこもり予防・介護予防の推進を図る ③社会的孤立の予防事業	①地域ふれあい活動 ②地区関係者合同研修 ③情報誌の発行
	雑賀	①健康づくり事業 ②地域の支え合いづくり事業 ③ほっとさいか(雑賀認知症見守りの会)	①公民館喫茶憩い館 おでかけミニデイサービスときわ
松北エリア	古江	①健康づくり事業 ②なごやか寄り合い支援事業	①古江給食サービス
	秋鹿	①なごやか寄り合い	①高齢者すこやかふれあい大会 ②そよかぜ交流会・弁当配食 ③広報活動
	大野	①健康づくり活動の推進（健康講座） ②介護予防・閉じこもり予防の推進 ③社会的孤立の予防	①ミニデイサービス(なごやか寄り合い事業) ②配食サービス ③地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活動 ④社協だよりの発行
	法吉	①健康づくり・認知症対策事業	①各自治会に福祉対策支援事業

地区名		重点事業	選択事業
	生馬	①元気で長生き道場 ②子育て支援（社会的孤立の予防） ③高齢者いきいき事業 （社会的孤立の予防）	①高齢者世帯及び障がい者の福祉調査 ②配食サービス ③町内ミニデイサービス ④年末見舞い（友愛訪問） ⑤情報誌の発行
	鹿島	①鹿島地区健康づくり事業 ②かしまほっとクラブ～鹿島地区男性 介護者交流会～ ③なごやか世話人活動支援事業	①鹿島地区子育て支援事業 ②広報誌の発行
松南1エリア	津田	①こころとからだの健康づくりの推進	①ボランティア喫茶 ②友愛訪問 ③つだ社協だより
	大庭	①ふれあいレクリエーション大会 ②高齢者講座・研修会・健康講座 ③閉じこもり予防活動・友愛訪問	①巡回相談（巡回お悩み相談） ②あそび広場 ③ふれあい会 ④「おおば福祉だより」の発行
	古志原	①安全見守り事業 ②福祉ふれあい事業 ③健康づくり活動推進事業 ④なごやか寄り合い推進事業	①福祉活動広報事業 ②地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活動
松南2エリア	竹矢	①健康づくり ②介護・生活習慣病予防講座	①子育て支援事業 ②ボランティア養成事業
	八雲	①健康づくり活動の推進 （八雲地区健康まつえ21推進隊事業）	①給食サービス
	東出雲	①健康まつえ21推進事業 ②なごやか寄り合い推進事業	①高齢者安否確認事業 ②広報事業
エリ	乃木	①男の料理教室 ②乃木さんあい健康教室	①地域福祉事業 ②ふれあい弁当サービス

地区名		重点事業	選択事業
	忌部	①社会的孤立の予防・居場所づくり ②人材育成の推進 ③健康づくり活動の推進	①配食・会食サービスの実施 ②ふれあい会食サービス・ミニデイサービスの開催
	玉湯	①健康づくり活動の推進 ②介護予防・閉じこもり予防の推進	①配食・会食サービスの実施 ②子育て支援事業
	宍道	①いきいき元気クラブ（介護予防教室）	①「ちょっこし動いて楽しま会」事業

⑤地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議

ア) 地区社会福祉協議会相互の連絡・調整を図り、地区社協活動の発展と地域福祉の推進に努めることを目的として、地区社協会長会（3回開催）・幹事会（1回）・正副会長会（3回）の開催に協力しました。

イ) 第6次松江市地域福祉計画・松江市地域福祉活動計画の策定にあたり、第6次地区地域福祉活動計画を基にした提言書を作成し、松江市社会福祉審議会に提出しました。

◆研修事業

事業名等	内容
第16回 松江市社・公・自三団体合同研修会	●日 時 令和6年12月11日（水）16:00～17:00 場 所 サンラポーむらくも（瑞雲の間） 参加者 28名 内 容 講演「災害を繰り返さないために気象情報が訴えているもの」 講師：松江地方気象台 台長 笠井 将伸 氏
先進地視察研修（大阪市西成区）	●期 日 令和6年11月6日（水）～11月7日（木） 視察先 NPO法人こどもの里 参加者 27名 内 容 法人の行う子どもの居場所をはじめとする取り組みを視察

イ) 事務局連絡会議

地区社協会長をはじめ地区社協関係者の方に向け、島根大学人間科学部の加川充浩教授に地域福祉活動について講演をしていただきました。

- 日 時 令和6年7月26日（金）13:30～17:00
- 会 場 松江市総合福祉センター大ホール、4階教養室
- 参加者 78名
- 内 容 【第1部】

講演「地域福祉活動と社会福祉協議会の役割について」

講師：島根大学人間科学部准教授（当時） 加川充浩氏

【第2部】

各種事業手続き様式説明、質疑応答、意見交換会（ブロック別）

⑥福祉推進員代表者会

福祉推進員が行う地域福祉活動を円滑に行うため、また福祉推進員の活動に必要な研修会の開催を検討するために幹事会並びに代表者会を開催しました。

◆代表者会・幹事会

事業名等	内容
第1回 代表者会・幹事会	●日時 令和6年11月27日（水） 幹事会 10:00～11:00 代表者会 11:00～12:00 会場 松江市総合福祉センター 4階教養室 出席者 幹事会 7名 代表者会 20名 内容 ・令和6年度福祉推進員代表者会役員体制について ・令和5年度事業報告について ・令和6年度事業計画【案】について
第2回 代表者会・幹事会	●日時 令和7年3月14日（金） 幹事会 14:00～15:00 代表者会 15:00～16:00 場所 松江市総合福祉センター 4階 教養室 出席者 幹事会 6名 代表者会 22名 内容 ・令和6年度福祉推進員事業の振り返り ・令和7年度福祉推進員事業計画について ・福祉推進員活動の手引きの改訂について

⑦福祉推進員研修会

ア）福祉推進員（初任者）全体研修会の開催

新任の福祉推進員及び再任の福祉推進員を対象に、講演会や活動事例発表を通して実際の福祉推進員の役割や人と人とのつながりづくりの重要性について学び、今後の実践活動に活かしていただくことを目的に開催しています。今年度は、ご近所福祉クリエーター酒井保先生の講演会と朝日地区・津田地区における福祉推進員活動の実践報告を実施しました。

◆福祉推進員全体（初任者）研修会

- 日時 令和6年11月13日（水）13:30～15:30
- 場所 松江市総合福祉センター 4階 大ホール
- 参加者 114名
- 内容 ・講演会

「安心して暮らせるまちづくり～これからの見守り活動について～」

講師：ご近所福祉クリエーター 酒井 保 氏

・福祉推進員活動事例発表

朝日地区福祉推進員会 船越 淳子 氏、松浦 佐代子 氏

津田地区福祉推進員会 三島 幸恵 氏

イ) 福祉推進員ブロック研修会の開催

令和 6 年度のブロック研修会ではニュースポーツ体験を通じて他地区の福祉推進員との交流を深めるとともに、日頃の福祉推進員の活動や悩みなどについて意見交換会を行うことで、新たな活動の視点を取り入れ、地域でのサロン・なごやか寄り合いでの活動や、地域における包括的な支援につなげていくことを目的に開催しました。

事業名等	内容
中央ブロック 城西・城東・城北・ 白潟・朝日・雑賀	●日 時 令和 7 年 2 月 28 日（金）13:30～15:00 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 参加者 福祉推進員 25 名
松東ブロック① 川津・朝酌・本庄・ 持田	●日 時 令和 7 年 2 月 19 日（水）10:00～11:30【雪のため中止】 会 場 川津公民館 イベントホール
松東ブロック② 島根・美保関・八束	●日 時 令和 7 年 2 月 25 日（火）14:00～15:30 会 場 美保関公民館 大会議室 参加者 福祉推進員 21 名
松北ブロック 古江・秋鹿・大野・ 法吉・生馬・鹿島	●日 時 令和 7 年 2 月 21 日（金）10:00～11:30 会 場 古江公民館 講堂 参加者 福祉推進員 27 名
松南ブロック 津田・古志原・大庭 竹矢・八雲・東出雲	●日 時 令和 7 年 2 月 21 日（金）10:00～11:30 会 場 ヨリアーナ東出雲 会議室 1・2・3 参加者 福祉推進員 19 名
湖南ブロック 乃木・忌部・玉湯・ 宍道	●日 時 令和 7 年 2 月 12 日（水）10:00～11:30 会 場 玉湯公民館 大ホール 参加者 福祉推進員 17 名
研修会共通	内 容（共通）

事業名等	内容
	・ニュースポーツ体験 ・意見交換会 普段の福祉推進員の活動について、自由に意見交換した。

⑧あったかスクラム事業の支援

松江市内 11 会場で実施されている「あったかスクラム事業」（障がいのある子どもの地域活動、その親の会活動支援）関係者の情報交換を目的に「あったかスクラム代表者会」を開催しました。

事業名等	内容
第 1 回代表者会	●日 時 令和 6 年 5 月 7 日（火） 13:30～15:00 - 会 場 松江市総合福祉センター 2 階 視聴覚室 - 出席者 あったかスクラム代表者（8 名） - 内 容 ・あったかスクラム事業事務局体制について ・2024 健康福祉フェスティバルブース出展について ・各地区の取り組み状況と課題について
第 2 回代表者会	●日 時 令和 6 年 6 月 4 日（火） 13:30～15:00 - 会 場 松江市総合福祉センター 2 階 視聴覚室 - 出席者 あったかスクラム代表者（5 名） - 内 容 ・2024 健康福祉フェスティバルブース出展について
第 3 回代表者会	●日 時 令和 6 年 9 月 3 日（火） 13:30～15:00 - 会 場 松江市総合福祉センター 3 階 教養室 - 出席者 あったかスクラム代表者（3 名） - 内 容 ・2024 健康福祉フェスティバルブース出展振り返り ・広報・周知について
第 4 回代表者会	●日 時 令和 6 年 11 月 12 日（火） 13:30～15:00 - 会 場 松江市総合福祉センター 3 階 教養室 - 出席者 あったかスクラム代表者（8 名） - 内 容 ・パンフレット作成について ・周知・配布等について
第 5 回代表者会	●日 時 令和 7 年 3 月 21 日（金） 13:30～15:00 - 会 場 松江市総合福祉センター 2 階 身障者研修室

事業名等	内容
	出席者 あったかスクラム代表者（5名） 内 容 ・今年度の振り返り ・来年度の計画

⑨生活再建うちクリーニング事業

市民が安心・安全に住みなれた地域で暮らすため、高齢化や疾病、障がい等により身の整理整頓、衛生的な生活環境が保てないことによる健康被害や教育環境を整えることが難しい世帯に対し、市と市社協が協力し、ゴミの片付け、運搬を実施し、自立に向けた支援を行う事業です。令和6年度においては相談がありましたが、個々の状況により利用に至りませんでした。

年度	利用者数
R6年度	0件
R5年度	0件
R4年度	0件

【プロジェクト】

⑩新たなつながりプロジェクト

近年、一人暮らしや身寄りのない人たちが増え、血縁や地縁による助け合い・支え合いでは解決できない問題が生じています。社協内にプロジェクトチームを組織し身寄りのないもの同士での互助組織の立ち上げを視野に、当事者の方の集いを開催しました。

◆第1回

- 内 容 コーヒー焙煎と茶話会
- 日 時 令和6年10月22日（火）13時30分～15時
- 参加者 3名

◆第2回

- 内 容 414（よいし）カードで交流会
- 日 時 令和6年12月10日（火）13時30分～15時
- 参加者 5名

◆第3回

- 内 容 地域共生社会講演会「身寄り問題を考える」参加と茶話会
- 日 時 令和7年2月13日（木）14時～16時
- 参加者 4名

2-(3) 広域福祉事業の推進

【生活支援課】

①福祉サービス利用援助事業の推進

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者など判断能力が不十分な方々に対して、できる限

り地域で安心して自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の預りサービスを行いました。また、関係機関への周知及び連携など事業の円滑な推進に努めました。

◆相談・問合せ件数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R6 年度	1,127 件	4,726 件	2,385 件	175 件	8,413 件
R5 年度	1,095 件	5,493 件	2,024 件	429 件	9,041 件
R4 年度	780 件	3,022 件	1,308 件	292 件	5,402 件

◆契約締結人数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R6 年度	172 人(1)	154 人(3)	108 人(2)	9 人(0)	443 人(6)
R5 年度	171 人(2)	151 人(0)	106 人(2)	9 人(0)	437 人(4)
R4 年度	169 人(2)	151 人(2)	104 人(1)	9 人(0)	433 人(5)

() 内は年度内新規契約件数

◆現在の実利用人数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R6 年度	8 人	65 人	19 人	4 人	96 人
R5 年度	7 人	67 人	20 人	4 人	98 人
R4 年度	11 人	74 人	24 人	4 人	113 人

「その他」は、高次機能障がいの方

◆生活支援員の配置状況

年度	登録者数	内活動者数
R6 年度	73 人	36 人
R5 年度	74 人	30 人
R4 年度	64 人	41 人

◆生活支援員研修会

内 容	期 日	会 場	人数
日常生活自立支援事業生活支援員研修会 (県社協主催)	令和 6 年 10 月 21 日	いきいきプラザ 島根	26 人
権利擁護支援者交流会 (市社協主催)	令和 7 年 2 月 27 日	松江市総合福祉 センター	14 人

②法人後見事業

法人後見事業は、松江市社会福祉協議会が法人として成年後見人等を受任し、後見事務を行う

事業で、本人の財産管理や契約等、本人に寄り添った支援を行いました。

◆法人後見事業の推移 死亡ケース含まず

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	計
R6 年度	14 件 (後見 8・保佐 4・補助 2)	8 件 (後見 5・保佐 3)	5 件 (後見 3・保佐 2)	27 件
R5 年度	15 件 (後見 12・保佐 2・補助 1)	14 件 (後見 9・保佐 5)	3 件 (後見 2・補助 1)	32 件
R4 年度	15 件 (後見 10・保佐 3・補助 2)	12 件 (後見 7・保佐 5)	2 件 (後見 2)	29 件

◆法人後見支援員の活動状況

年度	登録者数	内活動者数
R6 年度	16 人	14 人
R5 年度	16 人	15 人
R4 年度	14 人	9 人

3. ボランティア活動及び福祉教育

3-(1) コーディネート機能強化

【地域福祉課ボランティアセンター】

ボランティアをしたい人、ボランティアを必要とする人をつなぐ機能を強化し、高齢者や障がい者など支援を必要とする人が地域の中で自立した生活ができるよう支援しました。

◆ボランティア登録人数及び団体数

登録ボランティア分類	R6 年度	R5 年度	R4 年度
個人ボランティア	146 名(20)	140 名(14)	136 名(7)
団体ボランティア	104 団体(15)	94 団体(7)	94 団体(5)

() は新規登録者(団体)数

◆ボランティアの斡旋実績

利用状況	R6 年度	R5 年度	R4 年度
派遣依頼数	185 件	120 件	48 件
派遣団体数	34 団体	27 団体	18 団体
個人ボランティア延派遣者数	17 人	26 人	23 人
コーディネート数(マッチング回数)	165 件	123 件	48 件
キャンセル・該当者なし	6 件	1 件	0 件

◆相談機関・団体等との連携推進

個別支援の対応として、個人登録者・ゆうあいヘルプ・松江市くらし相談支援センター・地域

包括支援センター・各エリアの CSW や市等の関係機関と連携し、ボランティアのコーディネートを行いました。

また松江工業高等学校の「地域企業・地域住民と協働することにより、地域産業の発展に寄与できる心豊かな技術者育成を目標とした課題研究としての取り組み」の一環として実施された車いすの点検・修理に協力しました。

○団体との協働

松江赤十字病院：各種啓発リボン運動への取り組み

絵手紙サークルで作成された絵手紙を、ボランティアセンターを通じて病院へ寄付。入院中の方と家族や友人との交流の一助として、またリハビリ中の方の訓練の一環として活用。

3-(2) ボランティアの育成、養成

ボランティアの育成・養成に取り組みました。

①育成研修

①-1 2024 サマーチャレンジボランティア

ボランティア活動に関心のある方が市内の社会福祉施設等での体験を通じて社会福祉についての理解を深めると同時に、さまざまな出会いのなかから、新しい発見やボランティア活動について考える機会を提供しました。

・実施期間 令和 6 年 7 月 21 日（日）～8 月 24 日（土）

・内 容 ・事前研修会 講話・説明、活動先職員と参加者同士のグループ面談
・体験先 高齢者施設、保育園など
・事後研修会 個人ワーク、活動発表・振り返り

・参加者数 27 名（高校生）

①-2 あいサポート研修

障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現を目指す「あいサポート運動」の推進に取り組みました。

ア) あいサポート運動の啓発

・「ボランティアセンターだよりつなぐ 26 号」の紙面にて紹介しました。
・令和 6 年度障害者週間該当啓発活動へ参加し、「あいサポーター」啓発と、「ヘルプマークヘルプカード」趣旨周知のためのチラシを配布しました。

イ) あいサポーター研修の受付・推進

企業、団体等に対してメッセージャーを派遣し、研修を実施しました。

実施団体数・・・26 団体 40 回 受講人数・・・1,202 人

◆あいサポーター研修実施団体詳細

団体種別	団体数	団体種別	団体数
小学校	3	地域住民	0

団体種別	団体数	団体種別	団体数
中学校	1	行政関係	2
各種学校	6	その他	7
企 業	7	合計	26

ウ) あいサポートメッセージの登録・活動継続の意思確認

◆メッセージ登録者数

R6 年度	R5 年度	R4 年度
170 名	163 名	171 名

②養成研修

②-1 ボランティア入門講座の開催（くらし安心サポートセミナーを兼ねて開催）

- 開催日 令和 6 年 10 月 4 日（金）
- 会 場 松江市総合福祉センター4 階 教養室
- 参加者 4 名（修了者：3 名）

②-2 介護の入門的研修

- 開催日 令和 6 年 10 月 29 日（火）～11 月 1 日（金）
- 会 場 松江市総合福祉センター4 階 教養室
- 参加者 7 名（修了者：7 名）

3-(3) ボランティアの活動支援

①ボランティアルームの開放、備品の貸出し及び保険の加入促進

◆ボランティアルーム利用状況

利用状況	R6 年度	R5 年度	R4 年度
実利用日数	198 日	170 日	196 日
延べ利用団体数	120 団体	95 団体	226 団体
延べ利用人数	456 名	411 名	744 名

◆ボランティア活動に伴う機材等の貸出

貸出機材	R6 年度	R5 年度	R4 年度
印刷機	廃止	25 件	68 件
コピー機	106 件	76 件	37 件
車椅子	118 件	89 件	73 件
アイマスク	5 件	3 件	1 件
その他（高齢者疑似体験セット・スクリーン等）	66 件	54 件	39 件

◆ボランティア保険の加入促進

ボランティア保険種類	R6 年度	R5 年度	R4 年度
ボランティア活動保険（基本）	6,355 名	6,273 名	6,315 名
（天災・地震補償）	545 名	412 名	342 名
（特定感染症重点）	0 名	90 名	—
ボランティア行事用保険	1,703 件	1,635 件	1,461 件
福祉サービス総合補償	11 件	10 件	9 件
送迎サービス補償	4 件	4 件	3 件

※事故取扱件数 6 件

②ボラカフェの開催

ボランティアをしたいけど、何をしたいかわからない。一歩を踏み出したいという人のきっかけづくりとして、古切手整理、啓発用リボンの作成、折り鶴昇華再生活動（折り鶴の解体、選別）などの軽作業を実施しました。

・開催日：毎月第 4 水曜日 14:00～15:30

・回数：12 回

・参加実数：延べ 227 名

③おうち de ボランティアの実施

古切手整理

自宅で誰でも簡単にできるボランティア活動として実施しました。

・参加：古切手整理 10 件

④松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援

ア) 松江市ボランティア連絡協議会登録団体数

分 類	R6 年度	R5 年度	R4 年度
健康・福祉・まちづくり	26 団体	29 団体	29 団体
子ども・青少年・人権	19 団体	20 団体	21 団体
文化・芸術・スポーツ・レクリエーション・国際・情報	21 団体	22 団体	23 団体
計	66 団体	71 団体	73 団体

イ) 主な活動

- ・松江城・街美化ウォークの開催：令和 6 年 6 月 8 日(土)開催
- ・おもちゃの寄贈 玩具メーカーのハズブロ社が行っているトイ・ドネーション（おもちゃ寄贈の社会貢献活動）に当連絡協議会が応募し受取った寄贈品を、松江市社会福祉協議会や、市内子ども関連施設、子ども食堂活動団体等へ寄贈しました。

- ・松江市ボランティアフェスティバルの開催：令和 6 年 6 月 30 日(日)
- ・松江市市民活動センター指定団体連絡会への出席：令和 6 年 12 月 23 日(月)
- ・各種会議の開催：役員会 3 回

運営委員会：令和 6 年 5 月 20 日（月）

総会：令和 6 年 5 月 27 日（月）

松江城・街美化ウォーク 企画会議 2 回実施

⑤企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携、活動支援

ア) 加入者数：企業会員 59 企業、個人会員 51 名

イ) 総会・研修会の開催

事業名等	内 容
総会・研修会	●日 時 令和 6 年 10 月 29 日（火）15:00～16:30 会 場 松江市総合福祉センター 大ホール 事例報告 松江市社協 安部遼人、今村佳徳 参加者 32 名

ウ) 正副専門委員長会の開催

7 月 22 日 第 1 回正副専門委員長会

8 月 6 日 第 2 回正副専門委員長会

9 月 18 日 第 3 回正副専門委員長会

エ) 美化活動、水燈路の行燈の審査・表彰授与、赤い羽根共同募金活動への協力、ひとり一品運動への協力、松江市民余芸大会への参加・チケット販売

オ) 機関紙の発行 NO.41 R7.2 月発行

⑥松江市社会福祉法人連絡会との連携、活動支援

ア) 幹事会の開催

令和 6 年 6 月 6 日 第 1 回幹事会

令和 6 年 7 月 17 日 第 2 回幹事会

令和 7 年 1 月 22 日 第 3 回幹事会

イ) 総会・研修会の開催

事業名等	内 容
総会・研修会	●日 時 令和 6 年 7 月 30 日（火）15:30～17:00 会 場 松江市総合福祉センター4 階大ホール 事例報告 松江市くらし相談支援センター コミュニティソーシャルワーカー 参 加 者 27 法人 53 名

ウ) 地域における権利擁護体制づくり推進モデル事業の検討、実施

島根県社会福祉協議会からの助成を受け、権利擁護や成年後見制度に関する理解を深めるための研修会を開催しました。

事業名等	内 容
福祉現場で働く 人のための成年 後見セミナー	●日 時 令和 7 年 3 月 18 日（火）13：30～16:00 会 場 松江市総合福祉センター 4 階大ホール 内 容 講 演「その人らしい暮らしをチームで支える成年後見制度」 特定非営利法人尾張東部権利擁護支援センター 「あすライツ」センター長 住田 敦子 氏 報 告 松江市権利擁護推進センター・法人後見事例紹介 市社協生活支援課 三好 清水 参加者 115 名

エ) 実務者会議の開催

令和 6 年 10 月 22 日 第 1 回実務者会議

令和 6 年 12 月 25 日 第 2 回実務者会議

令和 7 年 2 月 28 日 第 3 回実務者会議

ふくしなんでも 相談所事例勉強 会	●日 時 令和 7 年 2 月 3 日（月）13：30～15：00 会 場 松江市総合福祉センター 4 階教養室 内 容 事例検討 生活困窮の氷山モデルの分析 参加者 14 名
-------------------------	--

オ) 情報発信

- ・機関紙『ワンラブ通信』の発行(令和 7 年 3 月)
- ・市社協ホームページでの情報提供

カ) ふくしなんでも相談窓口の設置

9 法人 20 事業所

対応件数 6 件

キ) ひとり一品運動への協力

⑦松江市建築組合青年部ボランティア活動の支援

地域で生活する一人暮らし高齢者・障がい者世帯の在宅での生活を支援するとともに、活動を通じて地域の方々に大工仕事の重要さを知っていただき、様々な人との交流を深めることを目的として実施を予定していましたが、実績としてありませんでした。

3-(4) ふくし教育の推進

ふくし教育についての相談や情報提供し、講師派遣の調整を行いました。

ア) 福祉学習推進の支援（講師派遣数）

区 分	R6 年度	R5 年度	R4 年度
学校関係	25 回	28 回	24 回

イ) 介護の基礎的講座普及モデル事業の推進

中学校学習指導要領の改定において、高齢者など地域の人々と協働する必要性や介護など高齢者との関わりを実践的に学ぶことが規定されたことに伴い、中学校において「福祉の心」を育む教育を推進するとともに、高齢者や介護に関する興味・関心を醸成し、将来の進学または職業選択の一助とすることを目的として、講義や体験的な活動等を実施しました。

講師については、老施協の協力を得て、介護現場で高齢者を第一線で支える介護施設職員を「介護の仕事コンシェルジュ」として派遣しました。

◆介護の仕事コンシェルジュ登録者数

10 法人、16 施設、52 名

◆実施状況

区 分	R6 年度	R5 年度	R4 年度
実施校数	8 校	6 校	6 校
人数	537 名	643 名	597 名
実施回数	13 回	10 回	8 回

◆もんじゅの知恵～「ふくし教育」実践プログラム集～の活用

「ふくし教育」を進めていくためのポイントやSDGsの視点を取り入れた実践プログラム集や申込書等を掲載したもんじゅの知恵～「ふくし教育」実践プログラム集～を活用し、学校等で実践を行いました。

3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化

ホームページの充実や情報誌の発行及びボランティアの相談受入の充実に努めました。

◆ボランティアセンター情報紙「つなぐ」を年3回（6月・10月・2月）発行しました。

◆公式LINEを新たに開設し、ボランティア募集についての情報発信を行いました。

◆収集ボランティア活動支援（古切手、プルタブ等受付）

区 分	R6 年度	R5 年度	R4 年度
受付件数	111 件	108 件	125 件

3-(6) 松江市まめなかポイント事業の実施

市の委託事業として、65歳以上の元気高齢者となごやか寄り合い事業を対象にして、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防の促進と活躍の場の進展、地域活動・ボランティア活動の推進に取り組みました。

区 分	R6 年度	R5 年度	R4 年度
個人登録者数	117 名(13)	108 名(23)	96 名
団体(なごやか寄り合い)登録数	207 団体(5)	202 団体(7)	268 団体
受入施設登録数	54 施設(2)	52 施設(9)	46 施設

() は新規登録数

4. 在宅生活支援事業の推進

4(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み

①地域包括支援センター事業の推進

【地域包括ケア推進課】

地域包括支援センターに全世代を対象としたふくしなんでも相談窓口を設置し、障がいのあ
る方や子ども、生活困窮者などの複雑・複合化した相談を受けとめるワンストップ窓口としての
機能の充実をめざし取り組みました。

処遇困難なケースの中には身寄りがいない、親族の支援が受けられないために施設入所や入
院手続きなどに担当のケアマネジャーや包括相談員が対応に苦慮しているケースがあり、「支援
者のための松江市身寄りのない方への支援ガイドライン」の周知を図るため研修会を開催しまし
た。「新たなつながりプロジェクト」において、当事者同士の集いを開催しました。

また、近年各地で豪雨による水害や土砂災害が多発しており、災害時の個別避難計画を作成
しました。民生児童委員、福祉推進員、ケアマネジャー等を対象に地域で情報交換会の開催や、
ケースを通して事前に避難場所や避難方法を地域の方やケアマネジャーとともに確認を行いま
した。

若年性認知症の理解、啓発を目的に若年性認知症についての連絡会を開催しました。

■重点事業

ア) 総合相談業務

○福祉推進員委嘱状交付式や民協定例会、地域で開催される研修会など、福祉推進員、民
生児童委員のほか、医療機関・金融機関・商店・コンビニ等に包括チラシやふくしなん
でも相談のチラシを配布し周知しました。また、17 会場で出張なんでも相談を行いました。

○包括と CSW で合計 129 件のふくしなんでも相談を受け付けました。イオンなんでも相
談から支援につながる相談もあり支援を行いました。

○相談実利用者数 3,207 人、相談延べ件数 16,082 件でした。

○支援や関わりを拒否されひきこもりの方に対して CSW やアウトリーチ専門職員ととも
に訪問を行いました。

イ) 権利擁護業務

○虐待通報件数が 88 件(内新規ケースが 72 件)あり、のべ対応回数は 238 回でした。「松江
市高齢者虐待対応マニュアル」に基づいて、すみやかに市と協議し、介護支援専門員・
主治医・サービス事業所等の関係機関と連携して虐待対応を行いました。

○身寄りのない人への支援のガイドラインと ACP の普及を図るため研修会を開催し、163 名の参加がありました。

○当事者同士の集いの開催（法人での「新たなつながりプロジェクト」）。3 回実施。当事者 5 名参加。また、当事者の集いを 3 回開催し 5 名の参加がありました。

○ブロック連絡会で「高齢者施設虐待防止について」の研修会を開催し、虐待防止の周知を図りました。

○各包括において成年後見制度のニーズの高いケースについて後見申立の類型や今後確認していく内容等検討するチームを立ち上げ、権利擁護推進センターと検討会を実施し 33 件協議しました。

○認知症などにより判断能力が低下した方の支援として市長申し立てを 4 件要請し、親族申し立てを 7 件支援しました。

ウ) 介護予防ケアマネジメント業務

○松江市住民主体の通所サービス（通所 B）について新規 1 か所の立ち上げ支援を行いました。また社協ホームページの高齢者お役立ち情報へ総合事業の掲載を行い、地域の研修会で総合事業について周知しました。

○地域で開催された健康教室やなごやか寄り合い（41 会場）の参加者や、実態把握訪問をした方、合計 771 名に対して、通いの場への参加継続やフレイル予防の啓発を行いました。総合相談も同様に、チラシを活用しながらフレイル予防や通いの場を紹介しました。その結果、59 名が公民館などで開催している「からだ元気塾」に新たにつながりました。

○低栄養予防をテーマに、低栄養のパンフレットを作成しました。地域ケア会議での助言者の永見管理栄養士に低栄養レシピを指導いただき、低栄養予防レシピの調理動画を 4 つ作成しました。社協のホームページに掲載しました。

○他市町村（出雲市、雲南市、安来市）の包括保健師との交流会を実施し、各包括のフレイル予防の取り組みや保健師の役割を共有しました。

○熱中症のアンケートをケアマネジャーに対し実施し、データ分析を行いました。

エ) 包括的・継続的ケアマネジメント

○各包括支援センターにおいて自然災害、感染症に関する BCP（事業継続計画）を策定し、有事の際に事業を止めることなく利用者にサービスが提供できる体制整備を行いました。

○各包括の介護予防支援事業所として高齢者虐待防止指針を作成し各包括内での周知と研修を開催しました。

○令和 3 年度から市の委託事業として GPS 端末機を貸出し、新規利用者 18 名に貸し出し、累計 84 名が利用されました。

○認知症見守りシール事業では、今年度 37 名の方より申請があり、令和 4 年 3 月から累計で 171 名にシールを配布しました。見守りシール啓発チラシを作成し関係機関へ配付しました。

○松江市オレンジカフェには 12 回参加し、延べ 52 名の家族からの相談を受けました。対応の助言や担当包括に繋げる事ができた。

- 認知症の啓発活動として、社協だよりの記事掲載を行いました。また、山陰中央新報「りびえーる」に記事掲載されました。
- 中央図書館において認知症の啓発展示を 7 月 27 日～8 月 29 日の間、松江市と協働で行いました。
- 若年性認知症の理解、啓発を図るため、若年性認知症についての連絡会を開催し、ケアマネジャー、サービス事業所、施設などから 43 名の参加がありました。
- これまでイオンやみしまや、A コープなどに加え、病院、薬局、コンビニエンスストア、金融機関などに SOS 見守りネットワークチラシを配布しました。
- 中央郵便局のデジタルサイネージを活用し認知症見守りネットワークの周知を図りました。
- SOS 見守りネットワークのメール受信登録者数が 1,518 名になり、昨年度より微増となりました。
- 災害時、要支援者の個別避難計画の作成を行いました。作成にあたっては災害時に避難困難な高齢者の安全な避難が出来るように民生児童委員、ケアマネジャーとの話し合いや情報交換会等を行いました。
- 災害時の支援について、地区社協、地域の組織・団体と災害に関する情報交換会や研修会を開催した。

オ) 地域ケア会議の開催

- 松江市個別地域ケア会議を年 12 回開催し、計 71 事例を検討し、自立に向けた個人の状態の改善、重度化防止の対策について取り組みました。
- 松江市個別地域ケア会議の評価会議を 2 回開催し、72 事例を評価しました。
- 助言を受けて利用者本人やケアマネに良い変化があった好事例 10 事例を松江市個別地域ケア会議事例集第 4 版に追加し、社協ホームページ掲載しました。市内のケアマネジャー(事例提出者)と専門職能団体(助言者)、サービス事業所等にメールで周知しました。
- ケアマネジャー向け研修と助言者向けの研修会開催を開催しました。
- 松江市個別地域ケア会議の運営方法や効果について、R5 年度と R6 年度の助言者と事例提出して頂いたケアマネジャーにアンケート調査を行いました。その結果、検討事例について「本人が望む生活や解決したい困りごとが明確な事例に加え、必要な支援を拒否している事例やケアマネジャーが困っている事例」「要支援・事業対象者の他に、要介護者」を対象にしてほしいとの意見がありました。また、「研修会で助言者とケアマネジャーの交流の機会があるとよい」との意見があり、R7 年度に向けて検討しました。

◆相談件数

区 分	相談件数		相談実利用者		介護予防ケアマネジメント及び 予防給付管理 プラン数(3月末)		ケアマネジャー 支援	
	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5
中央地域包括	3,394	3,865	500	569	626	657	6	17
松北地域包括	2,926	3,250	480	513	477	515	58	36
松東地域包括	3,015	3,173	518	500	596	589	46	106
湖南地域包括	2,088	2,545	457	450	465	498	32	48
松南第1地域包括	3,029	3,323	690	632	572	589	16	46
松南第2地域包括	1,630	2,416	562	469	349	403	10	57
計	16,082	18,572	3,207	3,133	3,085	3,251	168	310

◆公開講座

事業名等	内 容
公開講座 第1回	地域共生社会講演会「身寄り問題を考える」 ●日 時 令和7年2月13日(木) 14:00～16:00 内 容 【講演会】 地域共生社会講演会「身寄り問題を考える」 ～制度と互助のハイブリッドを目指して～ 講師 NPO 法人抱樸理事長 奥田知志 参加者 163名

◆ブロック連絡会

事業名等	内 容
ブロック連絡会 第1回	●日 時 令和6年10月24日(木) 13:30～15:00 会 場 松江市総合福祉センター大ホール 内 容 松江市の高齢者虐待の現状 松江市社会福祉協議会 地域包括ケア推進課 係長 小須賀 昭雄 講 演 『高齢者虐待防止法と市町村の責務』 講 師 法テラス島根法律事務所 弁護士 加藤 大介 氏 情報提供 『失語症者支援センターについて』 松江市失語症者支援センター センター長 門脇 康浩 氏

事業名等	内 容
	松江市障がい者福祉課 障がい者政策係長 曾田 秀二 氏 松江市障がい者福祉課 副主任 三井 祐輝 氏 参加者 会場 132 名

◆松江市事例検討会

事業名等	内 容
松江市事例検討会 (勉強会)	●日 時 令和 6 年 5 月 16 日(木) 13:30～15:45 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 内 容 ・ 情報提供 松江市失語症者支援センター ・ 事例の書き方の説明 ・ DVD 上映 参加者 30 名
松江市事例検討会 第 1 回	年間 参加者(ケアマネ) 延べ 77 名 検討事例 6 事例 ●日 時 令和 6 年 7 月 17 日(火) 13:30～15:00 参加者 12 名 (松北エリア 1 事例)
第 2 回	●日 時 令和 6 年 7 月 23 日(水) 13:30～15:00 参加者 16 名 (松東エリア 1 事例)
第 3 回	●日 時 令和 6 年 11 月 12 日(火) 13:30～15:00 参加者 13 名 (中央エリア 1 事例)
第 4 回	●日 時 令和 6 年 11 月 19 日(火) 13:30～15:00 参加者 11 名 (松南第 1 エリア 1 事例)
第 5 回	●日 時 令和 7 年 1 月 16 日(火) 13:30～15:00 参加者 12 名 (松南第 2 エリア 1 事例)
第 6 回	●日 時 令和 7 年 1 月 21 日(火) 13:30～15:00 参加者 13 名 (湖南エリア 1 事例)
居宅支援事業所 管理者意見交会	●日 時 令和 7 年 2 月 21 日(金) 13:30～15:00 内容 事業所からの報告 (2 事業所) 意見交換 ・ 個人情報管理について ・ 人材育成について 参加者 35 名

◆地域ケア会議

事業名等	内 容
各包括での地域ケア	困難事例等の対応検討や支援者の情報共有等、地域課題について地域の

事業名等	内 容
会議	関係者等と検討しました。 個別課題の検討 開催回数 79回 参加者 延 498名 地域課題の検討 開催回数 7回 参加者 延 119名
松江市個別地域ケア 会議	多職種が協働で個別ケースの支援内容を検討することで、高齢者の課題解決や、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力の向上を図りました。 会 場 松江市総合福祉センター 参加者 介護支援専門員(事例提出者) 助言者 薬剤師、訪問看護師、リハビリ専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のいずれか1名)、歯科衛生士、管理栄養士、臨床心理士、主任ケアマネ、保健師、社会福祉士、社協 CSW(兼務、生活支援コーディネーター) 検討事例 71事例 評価事例 72事例報告
第1回	●日 時 令和6年6月20日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例 会場:福祉センター
第2回	●日 時 令和6年7月4日(木) 13:30~16:30 検討事例 5事例 会場:福祉センター
第3回	●日 時 令和6年7月18日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例 会場:福祉センター
第4回	●日 時 令和6年7月13日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例 会場:福祉センター
第5回	●日 時 令和6年8月1日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例 会場:福祉センター
第6回	●日 時 令和6年8月22日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例 会場:福祉センター
第7回	●日 時 令和6年9月5日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例 会場:福祉センター
第8回	●日 時 令和6年9月19日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例 会場:福祉センター
第9回	●日 時 令和6年11月21日(木) 13:30~16:30 検討事例 6事例 会場:福祉センター
第10回	●日 時 令和6年12月5日(木) 13:30~16:30 検討事例 5事例 会場:福祉センター
第11回	●日 時 令和6年12月19日(木) 13:30~16:30

事業名等	内 容
第 12 回	検討事例 6 事例 会場:福祉センター ●日 時 令和 7 年 1 月 23 日 (木) 13 : 30～16 : 30 検討事例 6 事例 会場:福祉センター
評価会議 第 1 回	●日 時 令和 6 年 10 月 17 日 (木) 13 : 30～16 : 30 会場:福祉センター 評価会議 36 事例 (令和 5 年 11 月～令和 6 年 2 月までの事例) 地域課題「心不全」をテーマに①悪化予防のアセスメントの視点、 ②体調管理管理のポイント、③入退院を繰り返さないために専門職が チームでできる事を話し合った。
第 2 回	●日 時 令和 7 年 3 月 13 日 (木) 13 : 30～16 : 30 会場:福祉センター 評価会議 36 事例 (令和 6 年 6 月～令和 6 年 9 月 5 日までの事例) 地域課題「高齢者・障がい者の公共交通機関利用に関する地域課題」 「失語症者や中途障がい者の支援に関する地域課題」をテーマに、 ①現状の課題共有、②課題解決策について話し合った。
研修会 第 1 回 (助言者研修)	●日 時 令和 6 年 8 月 23 日 (金) 14:00～16:00 会場:福祉センター 内 容 【講義】「個別地域ケア会議の目的及び助言者の役割について」 講師 大田市立病院 作業療法士 小林 央 氏 【グループワーク】 「模擬地域ケア会議の事例を通して助言を考える」 参加者 助言者 31 名、包括職員 17 名、島根県地域包括ケア推進室室長 助言者内訳 主任ケアマネ 9 名、薬剤師 10 名、歯科衛生士 1 名 管理栄養士 1 名、訪問看護師 1 名、CSW8 名
第 2 回 (ケアマネ研修)	●日 時 令和 6 年 12 月 13 日 (金) 13:30～15:00 内 容 「低栄養予防～おいしく食べ続けるために～」 講師：管理栄養 永見葉子氏(フリーランス) 歯科衛生 北村 恵氏(特別養護老人ホームすまいる苑) 参加者 受講者 95 名 (会場 22 名、Zoom 73 名) 内訳 ケアマネ 70 名、包括職員 25 名

②在宅医療・介護連携支援センター事業の推進

【地域包括ケア推進課】

在宅医療・介護連携支援センターは、医療・介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援体制の構築に向けて設置されています。

令和 2 年度から質の高い在宅医療提供体制の構築を目指し、島根県の「医療連携コーディネーター設置事業」を松江市医師会から受託し、在宅医療・介護連携支援センターに医療連携コーディネーターを配置しました。医師会との連携が強化され、医師会の医療連携担当医師と相談しながら事業を進めました。

◆地域の医療・介護資源の把握

○市内のすべての施設 151 か所、訪問看護ステーション 41 か所、訪問リハビリテーション 13 か所、通所リハビリテーション 13 か所に対して、医療的ケア(インシュリン注射、喀痰吸引、経管栄養、在宅酸素療法、膀胱カテーテル等)や食事形態の対応状況、身寄りのない方の受け入れ状況等について調査を行い、把握した情報を一覧にし、社協ホームページに掲載しました。

◆医療・介護関係者の情報共有の支援

○松江市内すべての病院の地域連携担当者が集まる病病連携推進会議の開催や、病院の医師・看護師・在宅医・訪問看護師・介護支援専門員・薬剤師等の多職種に参加いただき、看取り(アドバンス・ケア・プランニング)についての事例検討会(年3回)を医師会医師と共に主催することで多職種連携の支援を行いました。また各専門職の課題、取り組み状況等について、広報誌「RENKEI」を年4回発行し、お知らせしました。

○救急搬送時の課題に対応するため、市内の関係機関に松江市作成「救急医療情報」の更新の周知、松江市消防本部と連携し、松江市内の高齢者施設に対して「救急車利用チェックシート」の利用状況を調査し、「救急車を呼ぶ時の Q&A」「救急車利用チェックシート」の評価及び改訂を行いました。

○当センターホームページ内に「まっえの ACP」ページを立ち上げ、「まっえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発協議会」の取り組み状況や啓発動画を掲載し、活動報告を行うことで、アドバンス・ケア・プランニングの普及・啓発に取り組みました。

◆在宅医療・介護連携に関する相談支援

○医療・介護関係者等からの、在宅療養や資源、連携に関する相談を受け付け、医療介護関係者が必要な資源の周知、相談から医療介護に関する課題の把握を行いました。

◆相談内容

内容	在宅療養 支援	医師との 連携	介護との 連携	病院の 入退院支援	施設の 入所支援	医療・介護 資源	その他	合計
R6	4	6	0	4	0	6	8	28
R5	9	8	6	4	0	9	19	55
R4	13	9	5	8	1	21	22	79

◆相談経路

相談者	ケアマネ	医師	病院	訪問看護	歯科	薬剤師	PT OT ST	事業所 サービス	行政	市民	包括	その他	合計
R6	5	1	3	1	0	1	1	0	2	3	6	5	28
R5	6	3	11	5	0	0	0	0	5	1	6	18	55
R4	9	3	20	5	0	2	0	4	2	3	17	14	79

◆医療・介護関係者の研修

- 市内各団体が開催する研修について、ホームページ上に「研修カレンダー」を作成、月 2 回更新し、関係者に研修情報を提供しました。また、今年度より松江市在宅医療・介護連携支援センターの公式 LINE を開設し、研修会情報や医療・介護連携に役立つ情報の周知等を実施しました（登録者 141 人）。
- 当センターが事務局を行っています「まつえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発協議会」主催の研修会を実施しました。テーマを「松江市内医療・介護関係者の ACP 取り組み」とし、医療側：松江市歯科医師会 副会長 内藤 晋一 氏、介護側：松江圏域老人福祉施設協議会 副会長 杉谷 健 氏を講師に迎え開催しました。（参加者：65 名）。
- 松江地域介護支援専門員協会、松江保健所と共催で、難病に関する研修会を実施しました。「重症神経難病患者のケアマネジメントについて学ぼう」をテーマに、介護支援専門員、障がい相談員、訪問看護師等に向けて重症神経難病に関する制度や介入方法等の内容で研修会を実施し、日々のケアについて学びを深める機会となりました。（参加者 37 名）
- 終括支援ノートの活用や在宅医療・介護についての講座を松江市の地域で開催しました。（18 会場 参加者 341 名）

③生活支援コーディネーター設置事業

【地域福祉課】

令和元年度より CSW（生活支援コーディネーター）を各包括支援センター（サテライトを除く）内に配置して、住民により身近な拠点で活動を行っています。

ア) 地域の生活課題の把握から新たな取組みの展開

「2 地域福祉及び連携調整の強化 2-(2)地域福祉の推進 ①コミュニティソーシャルワークの展開」の活動内容をご覧ください。

また地区社協事業をはじめ、なごやか寄り合いなどに出かけ、実態の把握に努めました。

イ) ネットワークづくり

地域の生活課題の検討や住民の主体的な取組みによる解決を図るため、平成 30 年度末に市内 29 地区を単位に「第 2 層協議体」を立ち上げました。地区地域福祉活動計画策定と進捗管理の会議を第 2 層協議体に充てている地区が多く、令和 6 年度は第 6 次地区地域福祉活動計画や地区社協事業の実施について話し合いました。

ウ) 住民主体の生活支援サービスの開発

介護保険制度の総合事業に位置付けられる通所型サービス B(住民主体型)の立ち上げについて、地区に働きかけをしました。また、これまで地域住民が主体となり実施されている各地の居場所づくり活動においても、後方支援しました。

エ) サービスの担い手確保

令和 6 年 10 月 4 日に令和 6 年度くらし安心サポートセミナーを実施し、3 名が受講され、地域の支え合い活動の担い手として登録されました。

訪問型サービス A（基準緩和型サービス）へ従事していただくことを目的に、第 1 回目（10 月 29 日・10 月 30 日・10 月 31 日）、2 回目（3 月 4 日・3 月 5 日・3 月 6 日）に令和 6 年度松江市総合事業訪問型サービス従事者養成研修を開催しました。合計 7 名が受講をされ、内 7 名に対し松江市より修了証が授与されました。

◆生活支援コーディネーターの動き

活動の項目	件数
住民型サービスへの支援	40 件
協議体の運営	209 件
人材育成	356 件
啓発	189 件

④認知症地域支援推進事業

【総務課】【地域包括ケア推進課】

ア) 支援者づくり・まちづくり

○徘徊 SOS 見守りネットワークの強化

市内の協力事業所や民生児童委員、地区社協関係者等に、高齢者の見守り協力の依頼をし、認知症の理解や対応について SOS 見守りネットワーク協力者登録チラシの配布をしました。

◆認知症見守りネットワーク

年度	登録者数(利用者)	登録者数(協力者)	協力事業所数	稼働回数
R6 年度	497 人	1,518 人	368 事業所	3 回
R5 年度	437 人	1,479 人	367 事業所	3 回
R4 年度	341 人	1,375 人	281 事業所	7 回

⑤介護者の支援

【地域福祉課】

ア) 男性介護者フリースペース

仕事と介護の両立や慣れない家事などで苦勞が多く、地域で孤立しがちな男性介護者の支援として、平成 21 年度から男性介護者の集いを開催しています。気軽に立ち寄り、日頃の悩みや介護について男性介護者同士で語り合える「フリースペース」の形式は維持しな

がら、男性介護者が参加しやすいよう毎月テーマを決めて開催しました。

- 日 時 毎月第3金曜日 10:00～12:00
- 会 場 松江市総合福祉センター3階教養室
- 相談対応 地域包括支援センター、地域福祉係

開催月	テーマ（講師）	参加人数
4月	茶話会（自己紹介と今年度計画）	3
5月	福祉用具、介護用品のお話	4
6月	パステルアート体験	4
7月	防災対策について	3
8月	茶話会	4
9月	介護のお役立ち情報	3
10月	コーヒー焙煎体験	3
11月	人生会議（ACP）のお話	3
12月	オトコの料理教室	5
1月	空き家対策についてのお話	6
2月	健康づくり	3
3月	茶話会（来年度に向けて）	3
計		44人

イ）家族介護者交流会

在宅で介護をしている家族介護者が介護者相互の交流会や研修・講座への参加を通して、気分転換し元気回復を図ることを目的に、以下の内容で実施しました。

事業名等	内 容
第1回	●日 時 令和6年10月15日（火）13:30～15:15 - 会 場 松江市総合福祉センター4階 教養室 - 参加者 14名 - 内 容 資生堂ライフクオリティービューティーセミナー 介護者交流会
第2回	●日 時 令和7年3月14日（金）10:00～11:30 - 会 場 松江市総合福祉センター3階 教養室 - 参加者 16名 - 内 容 介護者交流会

4-(2) 各種貸付相談

【生活支援課】

島根県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付制度の受付相談と、自主事業として低所得

世帯に対し、緊急的に必要な資金を貸付する民生融金貸付事業を行いました。

◆相談件数

年度	相談件数
R6 年度	656 件
R5 年度	637 件
R4 年度	1,024 件

◆月別相談件数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	33	60	55	71	38	40	65	60	42	72	50	70	656

①生活福祉資金の貸付

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯を中心に貸付及び援助指導を民生児童委員の協力を得て行いました。また、母子福祉資金等、他制度との連携も図り適切な事業の実施に努めました。

◆生活福祉資金貸付実績

年度	貸付件数	貸付金額
R6 年度	72 件	45,571,000 円
R5 年度	82 件	51,276,092 円
R4 年度	233 件	69,886,640 円

◆生活福祉資金 資金内訳 (72 件)

- 一時生活再建 (16 件) ■緊急小口 (9 件) ■教育支援費 (22 件)
- 就学支度費 (19 件) ■総合支援資金 (6 件)

◆生活福祉資金貸付件数 (性別・年代別延べ件数)

	19 歳以下	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	計
男性	18	0	2	5	6	2	2	0	0	35
女性	21	4	2	0	4	4	2	0	0	37
合計	39	4	4	5	10	6	4	0	0	72

◆新型コロナウイルス特例貸付制度貸付・償還免除・償還完了の状況

緊急貸付		件数	金額
緊急小口	貸付	2,898 件	536,210,000 円
	償還免除	90 件	12,930,530 円
	償還完了	742 件	138,260,000 円
総合・初回	貸付	899 件	397,489,000 円
	償還免除	47 件	20,356,630 円
	償還完了	2 件	800,000 円

緊急貸付		件数	金額
総合・延長	貸付	301 件	131,632,000 円
	償還免除	29 件	12,129,500 円
	償還完了	1 件	600,000 円
総合・再貸付	貸付	321 件	134,805,000 円
	償還免除	110 件	48,490,000 円
	償還完了	0 件	0 円

※貸付期間 令和 2 年 3 月～令和 4 年 9 月

② 民生融金の貸付

低所得世帯に対し緊急的に必要な資金として、民生児童委員の協力により 1 件 5 万円以内で貸付を行いました。

◆民生融金貸付実績

年度	貸付件数	貸付金額
R6 年度	55 件	791,000 円
R5 年度	35 件	725,000 円
R4 年度	21 件	384,000 円

◆民生融金貸付件数（性別・年代別延べ件数）

	19 歳 以下	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 代	80 歳 代	90 歳 代	計
男性	0	1	4	5	11	8	4	0	0	33
女性	0	2	1	5	8	1	2	2	1	22
合計	0	3	5	10	19	9	6	2	1	55

4-(3) 福祉サービス

①福祉サービスの実施

【地域福祉課】

ア) 住民参加型在宅福祉サービス事業の推進（ゆうあいヘルプサービス）

高齢化の進行や社会の変化に伴い、多様化する福祉ニーズに対応するため、住民主体による住民同士の助け合いを基本とした住民参加型ヘルプサービスを展開することにより、在宅生活の安定と福祉の増進を図ることを目的に事業を実施しました。

また、松江市が実施する介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）における、住民主体サービスである訪問型サービス B も実施しました。

◆ゆうあいヘルプサービス事業の状況

年度	R6 年度	R5 年度	R4 年度
利用会員	105 人	97 人	100 人
協力会員	44 人	44 人	47 人

◆ゆうあいヘルプサービス実績（1 時間単位のサービス時間を設定）

項目	R6 年度	R5 年度	R4 年度
利用回数（家事）	1,372 回	1,459 回	1,436 回
利用時間（家事）	1,633 時間	1,812 時間	1,853 時間
利用回数（介護）	828 回	716 回	727 回
利用時間（介護）	1,284 時間	1,183 時間	1,256 時間
利用回数（訪問 B）	104 回	131 回	245 回
利用時間（訪問 B）	104 時間	127 時間	236 時間
利用回数(計)	2,304 回	2,306 回	2,408 回
利用時間(計)	3,021 時間	3,122 時間	3,345 時間

5. 公的福祉サービス受託事業の推進

5・(1) なごやか寄り合い事業

【地域福祉課】

長年住み慣れた地域での生活を継続できることを目的とした「なごやか寄り合い事業」の立ち上げと、円滑な継続運営に向けた取り組みに対して支援を行いました。

◆なごやか寄り合い事業実施状況

年度	実施会場数	実施回数	参加者延人数
R6 年度	357 カ所	2,782 回	32,032 人
R5 年度	331 カ所	2,523 回	29,033 人
R4 年度	314 カ所	2,034 回	21,100 人

◆公民館区ごとの実施状況

地区名	会場数	回数	地区名	会場数	回数
城西	8	21	古江	7	39
城東	4	26	生馬	11	41
城北	3	61	鹿島	12	136
白潟	9	54	法吉	12	63
雑賀	5	42	津田	10	65
朝日	9	55	竹矢	11	265
朝酌	9	21	大庭	18	106

地区名	会場数	回数	地区名	会場数	回数
持田	12	96	古志原	13	81
本庄	15	56	八雲	19	167
川津	13	128	乃木	17	260
美保関	20	174	忌部	15	46
八束	8	38	玉湯	18	71
島根	16	138	宍道	18	135
大野	8	45	東出雲	25	299
秋鹿	12	53	合計	357	2,782

ア) 継続支援、立ち上げ支援

前年度からの継続実施会場からの相談対応、新規会場の立ち上げ支援およびボランティア行事用保険手続き・物品支給の対応をしました。また、福祉推進員・民生児童委員・自治会等において、本事業に関する相談対応・情報提供を随時行いました。

◆継続支援、立ち上げ支援の状況

立ち上げ相談・説明会・支援	7 地区 (42 件)
立ち上げボランティア行事用保険	7 会場 (30 件 ※約 600 名分)
物品提供	7 会場 (10 件)
継続支援	26 地区 (149 件)

イ) 「なごやか寄り合い事業」ボランティアスタッフ研修会の開催

◆全体研修会の開催

なごやか寄り合いボランティア（世話人）の方を対象に、事業を実施する上での知識やヒントを得て今後に役立てていただくため、「なごやか寄り合い事業世話人全体研修会（出前講座見本市）」を開催しました。趣味・特技を活かしたボランティアや企業、関係団体の出展を募り、なごやか寄り合いで実施可能な活動や講座の紹介等、情報提供・デモンストレーションを実施しました。

◦ 日 時 令和 6 年 12 月 6 日（金）13:30～15:50

◦ 場 所 松江市総合福祉センター 4 階 大ホールほか

◦ 参加者 89 名

◦ 内 容 8 つの出展団体による出前講座の紹介やデモンストレーションを実施。

⑤ 14:00～ ②14:40～ ③15:20～の 3 回に分けて行った。

令和 6 年度企画「なごやか川柳コンテスト」の選考結果発表と表彰式を開催

出展団体（内容）と参加人数

（人）

団体名	内容	①	②	③
浩二音楽事務所	楽しい歌謡ショー	27	5	3

団体名	内容	①	②	③
松江市社会福祉協議会	ニュースポーツ体験	15	17	7
松江市歯科医師会 松江市歯科衛生士会	オーラルフレイル予防について	15	15	15
松江市薬剤師会	お薬出前講座			15
松江地域活動栄養士の会 山椒の会	食からのフレイル予防	5	17	5
だんだん笑笑クラブ	笑いヨガ	9	9	9
しまねりハビリテーション ネットワーク	リハ職派遣事業	5	7	15
ソフトバンク株式会社	高齢者スマホ教室	3	4	6

◆ブロック研修会の開催

なごやか寄り合いボランティア（世話人）らが互いの経験や知識に加え、各地区で工夫している点などを共有し、なごやか寄り合いの充実を目指すことを目的に研修会を開催しました。研修会では、グループワークを通じてボランティア（世話人）同士が活発に意見交換を行いました

◦日 時 令和6年10月9日（水） 10:00～12:00 ※橋北ブロック

13:30～15:30 ※橋南ブロック

◦場 所 松江市総合福祉センター 4階 大ホール、4階 教養室

◦参加者 橋北ブロック：55名、橋南ブロック：50名

◦内 容・関係機関より情報提供

・なごやか寄り合いお知恵拝借シート

なごやか寄り合いを運営していて日々感じる課題について、解決に向けたアイデアやあったら嬉しい制度について意見交換を実施しました

◆なごやか寄り合いの魅力を再発見する新企画「なごやか川柳コンテスト」を実施

なごやか寄り合いをテーマにした、川柳コンテストを開催しました。川柳を通じて『なごやか寄り合い』の魅力を再発見し、参加者や世話人、関係者が一体となって盛り上げる機会になりました。

◦応募期間 令和6年8月1日～令和6年10月31日

◦選考期間 令和6年11月1日～令和6年11月30日

◦結果発表 令和6年12月6日※なごやか寄り合い全体研修会と合わせて開催

◦応募者数：111人 応募総数：280作品

5-(2) 松江市くらし相談支援センターの運営

【生活支援課】

生活困窮者等の生活相談に応じ、必要な情報提供や相談支援を行うとともに、法テラスやハローワーク等の関係機関等と連携を図りながら自立相談支援業務を行いました。

また、新型コロナウイルス特例貸付金償還免除や償還猶予など返済に関する相談を通じて、自

立に向けた支援に取り組めました。複合的多問題を抱えた世帯への支援だけではなく、地域社会からの孤立・孤独化を防ぐために、地域へ向けて情報誌の発行、ポスター掲示、公式 LINE の活用など積極的に啓発活動を行い、社会全体で寄り添い続ける仕組みづくりにも取り組みました。

◆相談人数

年度	新規相談者実人数
R6 年度	552 人
R5 年度	474 人
R4 年度	524 人

◆月別相談人数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	39	49	48	60	36	56	60	38	35	43	40	48	552

◆主な相談内容と支援内容（重複あり）

相談内容	人数（％）	相談内容	人数（％）
病気・健康	79 人（8.5％）	地域との連携	5 人（0.5％）
住まい	136 人（14.6％）	家族との関係	42 人（4.5％）
収入・生活費	227 人（24.4％）	子育てのこと	3 人（0.3％）
家賃やローン	64 人（6.9％）	介護のこと	19 人（2.0％）
税金・公共料金支払	106 人（11.4％）	引きこもり・不登校	7 人（0.8％）
債務	46 人（4.9％）	DV・虐待	4 人（0.4％）
仕事探し・就職	69 人（7.4％）	食べる物がない	36 人（3.9％）
仕事上の不安・トラブル	14 人（1.5％）	その他	74 人（8.0％）

◆相談者年齢、性別

年齢別		性別等	
10 代	7 人（1.2％）	男性	276 人（50.0％）
20 代	47 人（8.5％）	女性	247 人（44.7％）
30 代	44 人（8.0％）	不明	29 人（5.3％）
40 代	64 人（11.6％）	合計	552 人
50 代	66 人（12.0％）		
60 代	55 人（10.0％）		
70 代	62 人（11.2％）		
80 代以上	27 人（4.9％）		
不明	180 人（32.6％）		
合計	552 人		

◆専門職との連携強化

キャリアコンサルタントや臨床心理士等専門職との連携強化を図りました。

臨床心理士とのケース会議の開催（3件）

キャリアコンサルタント相談（2件）

◆家計改善支援事業

家計に役立つ節約術やレシピ集を作成し、SNSで配信しました。

（ア）手抜き蒸しパンレシピ」

（イ）ご飯を炊いてみよう」

（ウ）コンビニおにぎり VS 手作りおにぎり」

（エ）ペットボトル湯たんぽをつくってみよう」

（オ）どっちがお得！？ティーパック VS ペットボトル」

（カ）自宅で眠っている乾物をポリ袋で簡単おかず（切り干し大根編）」

（キ）自宅で眠っている乾物をポリ袋で簡単おかず（高野豆腐編）」

◆支援内容

区分	支援内容	人数
制度利用	住宅確保給付金	15人
	一時生活支援事業（シェルター）	8人
	一時生活支援事業（ホテル泊）	1人
	家計相談支援事業	13人
	就労準備支援事業（プラン未作成者含む）	21人
	被保護者就労準備支援事業	8人
	入居債務保証（新規）	17人
	生活福祉資金	13人
	民生融金	29人
	社協独自のシェルター事業	5人
	フードバンク	253人
	就労自立促進事業	20人
	自立相談就労支援	21人
他機関への 引継ぎ ・ 同行	ハローワーク同行・連絡調整	259人
	法テラス・弁護士	207人
	サポートステーション絆	30人
	地域包括支援センター	536人
	不動産・大家・公社	126人
	病院	144人

区分	支援内容	人数
	市関係機関	882 人

①複合的な課題を抱えたケースに対する関係機関との連携強化

◆生困困窮者自立支援法第9条「支援会議」の開催

「支援会議」とは、生活困窮者の自立を図るために必要な情報の交換を行うとともに、生活困窮者が地域において日常生活および社会生活を営むのに必要な支援体制に関する検討を行うことを目的に開催する会議です。3件の事例について開催しました。

開催日	支援会議参加機関
8月19日	島根県立心と体の相談センター 松江市社会福祉協議会 (地域包括支援センター、くらし相談支援センター) 参加者 5名
9月18日	島根県立心と体の相談センター 松江市社会福祉協議会 (地域包括支援センター、くらし相談支援センター) 参加者 5名
9月20日	島根県立心と体の相談センター アクティブきたほり 東寿苑居宅介護支援センター 松江市社会福祉協議会 (地域福祉課、地域包括支援センター、くらし相談支援センター) 参加者 6名

②生活困窮者支援に対する理解促進

◆くらし相談支援センターの広報・啓発

- ・機関紙「ほっとスペース」を2回(夏号・冬号)発行しました(500部配布)。
- ・くらし相談支援センターポスターをリニューアルし、関係機関・団体等へ掲示の依頼をしました。
- ・公式LINE、登録者約170人へ毎月1回、生活に役立つ情報等を配信しました。

配信月	公式LINE配信内容	閲覧者数
7月	就労準備支援事業紹介	139
8月	教育支援資金制度の紹介	144
9月	就労準備講座のお知らせ	147
10月	チャリティーサンタのお知らせ	148
11月	チャリティーサンタのお知らせ	150

配信月	公式 LINE 配信内容	閲覧者数
11 月	ひとり親世帯への食料品提供の会のお知らせ	153
12 月	教育支援資金のお知らせ	152
1 月	就労準備講座のお知らせ	153
2 月	パソコンルームのお知らせ	155
3 月	住宅確保給金のお知らせ	156

③就労に向けた支援の実施

◆就労準備講座及びプレ就労準備講座の実施

就労によって増収を図り、生活困窮状態を改善することを目指した支援を行いました。長い就労ブランクや、コミュニケーションに課題があるなど、すぐには一般的な就労に結びつかない相談者のために、「就労準備講座」と「プレ就労準備講座（Assist!!～みんなのフリースペース～）」を開催しました。

◆体験・交流事業の実施

ひとり親世帯を中心に「体験・思い出づくりの場」を目的として、島根町にあるシイタケ栽培所の協力により、8月24日に「シイタケ収穫体験」を行いました。

参加者：親子1世帯2人

【就労準備講座】（開催場所：松江市総合福祉センター）（延べ人数）

開催日	内容	参加者数(生保受給者数)
6月3日	体操教室	参加者数3人(0人)
6月5日	パステルアート	参加者数2人(0人)
6月12日	ビジネスマナー	参加者数2人(0人)
6月19日	コミュニケーション講座	参加者数2人(0人)
6月26日	料理教室	参加者数3人(0人)
10月7日	体操教室	参加者数2人(0人)
10月9日	パステルアート	参加者数5人(1人)
10月16日	コミュニケーション講座	参加者数4人(0人)
10月23日	ビジネスマナー	参加者数4人(0人)
10月29日	料理教室	参加者数1人(0人)
2月3日	健康教室	参加者数2人(1人)
2月5日	パステルアート	参加者数4人(1人)
2月12日	コミュニケーション講座	参加者数3人(1人)
2月26日	料理教室	参加者数4人(1人)
3月14日	ビジネスマナー	参加者数5人(2人)
合計		46人(7人)

【プレ就労準備講座（Assist!!～みんなのフリースペース～）】

（開催場所：松江市総合福祉センター）

（延べ人数）

開催日	内容	参加者数(生保受給者数)
5月9日	ボードゲーム	参加者数1人（1人）
7月11日	マージング	参加者数1人（1人）
8月8日	そうめん流し・ミニ祭り	参加者数6人（1人）
9月12日	ゴズ釣り	参加者数5人（2人）
11月14日	eスポーツ大会	参加者数3人（0人）
12月12日	クリスマスケーキ作り	参加者数4人（0人）
1月9日	書初め	参加者数3人（1人）
3月13日	ボードゲームカフェ	参加者数4人（1人）
合計		27人（7人）

④フードバンク事業

【総務課・生活支援課】

くらし相談支援センターでの相談者をはじめ、社協貸付相談、地域包括支援センター、福祉事務所などからの相談に応じて、緊急的対応としてフードを提供しました。

◆提供者数

項目	実利用者	延べ利用者	1人あたり回数
R6年度	169人	280人	1.65回
R5年度	155人	306人	1.97回
R4年度	255人	340人	1.33回

◆ひとり一品運動

生活困窮者へのフード提供や生活困窮世帯、特にコロナ禍の影響を受けて収入が減少し、負担が増えた「ひとり親世帯」等を支援するために、「ひとり一品運動」を11月に実施しました。お米・缶詰・乾麺・インスタント食品、日用品等の寄贈を広く市民に呼びかけ、多く品物を寄贈いただきました。

○寄付件数

寄付者数（個人・団体）214件 数量 13,456点

◆ひとり親世帯等への食料・日用品の提供

ひとり一品運動で寄付をいただいた物品を利用し、「ひとり親世帯」を中心とした生活困窮世帯への支援を行いました。

開催日	提供世帯数	提供品	備考
6月23日 ～28日	128世帯	食品(米、インスタント食品、お菓子等)日用品	期間中随時受け取り

12月17日 ～24日	142世帯	食品（インスタント食品、レトルト食品、野菜）	期間中随時 受け取り
合計	270世帯		

⑤「助っ人弁護士制度」（法テラス島根との連携）

【生活支援課】

法テラス島根と連携して、法テラススタッフ弁護士による情報提供や法律相談を行い、司法と福祉の連携を図りました。

開催日：毎月第2・第4水曜日（午前）

◆助っ人弁護士制度の実績

年度	方法	件数
R6年度	面談での法律相談・情報提供	52件
R5年度	面談での法律相談・情報提供	59件
R4年度	面談での法律相談・情報提供	47件

5-(3) 高齢者あんしんサポート事業

【生活支援課】

身寄りのない高齢者を支援する「高齢者安心サポート事業」を実施しました（契約総件数5件）。

◆契約件数

年度	新規契約件数
R6年度	1件
R5年度	0件
R4年度	2件

◆相談ケースについて

相談件数	10件
内契約に向け継続相談件数	1件

◆契約締結審査会

新規契約の審査 令和6年10月25日開催 委員7名

◆視察・講演依頼への対応

高齢者あんしんサポート事業について高い関心をいただき、行政や社協等からの視察や講演依頼に対応しました。

【視察対応】

期日	視察受入先	人数
8月21日	兵庫県赤穂市・赤穂市社会福祉協議会	4人

期日	視察受入先	人数
10月15日	広島県三原市・三原市社会福祉協議会	5人
10月24日	茨城県東海村社会福祉協議会	2人
11月1日	滋賀県甲賀市	4人
2月18日	山口県長門市社会福祉協議会	3人

【講演依頼】

期日	主催団体・研修名	参加人数
7月26日	高知市社会福祉協議会 専門職・支援者向け研修会	約120人
1月15日	米子保健所 医療介護連携体制の構築にかかる調整会議	約120人
1月20日	岡山県社会福祉協議会 成年後見制度利用促進に係る市町村研修会	約50人
2月17日	古志原地区民生児童委員協議会 研修会	約30人
2月21日	鳥取県岩美郡岩美町 つながりって！？講演会 in 岩美町	約40人
2月22日	鳥取市富桑地区 民生委員・住民研修会	約60人
3月5日	福井市社会福祉協議会 身元保証事業勉強会（オンライン）	約30人

5-(4) 松江市権利擁護推進センターの運営

【生活支援課】

松江市権利擁護推進センターは、成年後見制度が社会全体を支える仕組みとなるよう、市民、行政、関係機関と連携し、広報啓発業務、総合相談業務、利用促進業務、後見人等支援業務および地域連携ネットワークの構築等の各種業務を推進し取り組みを行いました。また、成年後見制度が『その人らしい生き方』を社会全体で支える身近な制度となるよう、広報啓発や人材育成を目的として、権利擁護サポーター養成講座や市民後見人等養成講座にも力を入れて取り組みました。

①相談受付業務

成年後見制度に関する相談だけではなく、日常生活自立支援事業など広く総合的に権利擁護に関する相談支援機関として、市民の皆様に寄り添った対応を行いました。また、関係機関との連携を図りながら、支援が必要な方に対して迅速に対応し、支援につなげました。

◆相談実績

年度	新規相談件数（実数）	相談支援回数（延数）
R6年度	165件	276回
R5年度	208件	319回
R4年度	142件	420回

◆新規相談における対象者の分類（重複あり）

分類 年度	認知症	知的障がい	精神障がい	身体障がい	高次脳機能障がい	発達障がい	その他	不明	計
R6 年度	57	22	26	3	3	1	26	29	167
R5 年度	76	32	24	8	2	2	24	44	212
R4 年度	36	21	18	4	11	3	39	26	158

◆主な相談内容（重複あり）

相談内容	新規相談件数	延相談件数
成年後見制度の相談	83 件	98 件
成年後見申立て支援	12 件	17 件
日常生活自立支援事業	36 件	41 件
財産管理	10 件	18 件
金銭管理	20 件	27 件
相続・遺言	6 件	6 件
高齢者あんしんサポート事業	10 件	12 件
財産・資産	7 件	8 件
任意後見	6 件	7 件
住居	6 件	7 件

また、今年度も、地域へ出張方式による「成年後見制度なんでも相談会」を実施しました。本会地域福祉課（コミュニティソーシャルワーカー）および地域包括支援センターとの連携により実施しました。

◆「成年後見制度なんでも相談会」の実績

開催日	会 場	相談者数
11 月 3 日	秋鹿公民館	0 人
12 月 11 日	玉湯公民館	0 人
3 月 3 日	市営宝谷アパート集会所	5 人

②利用促進業務

成年後見制度を必要とするご本人の状況や課題に応じて、適切な後見人等を選任するための受任者調整を行いました。また、制度利用の促進に向けた担い手育成事業を実施しました。

ア) 受任者の調整

松江市権利擁護推進センターでは、本人がメリットを感じることができるよう、専門職

(弁護士会・司法書士会・社会福祉士会、松江後見センター) で構成する「受任者調整会議」によって、適切な受任者の調整を行いました。

◆受任者調整件数および受任者調整会議開催回数

年度	受任者調整件数	受任者調整会議
R6 年度	28 件	17 回
R5 年度	38 件	20 回
R4 年度	47 件	22 回

◆受任者調整結果

年度 候補者 選出団体	弁護士会	司法書士会	社会福祉士会	松江後見セン ター(個人)	松江後見セン ター(法人)	松江市社協 (法人後見)	松江市社協 (市民後見)	複数保佐人 (※1)	計
R6 年度	5 件	6 件	7 件	6 件	1 件	2 件	1 件	0 件	28 件
R5 年度	9 件	5 件	6 件	11 件	1 件	3 件	3 件	0 件	38 件
R4 年度	9 件	4 件	8 件	13 件	0 件	11 件	1 件	1 件	47 件

(※1) 複数補佐人(弁護士会、松江市社協(法人後見))

イ) 担い手育成

成年後見制度の利用を必要とする方の増加に伴い、後見人等の不足が見込まれる状況があります。松江市権利擁護推進センターでは、ご本人に寄り添い、より身近なかたちで支援を行うことができる市民後見人をひとりでも多く輩出するべく、市民後見人等養成講座の運営に力を入れています。

◆令和 6 年度松江市市民後見人等養成講座【基礎編】 修了者 27 人

開催日	時 間	会 場	内 容
【1 日目】 8 月 24 日	9:30~15:50	松江市総合福祉 センター	「権利擁護支援とそれを実現するための制度・事業について学ぶ」
【2 日目】 8 月 31 日	9:30~16:00	松江市総合福祉 センター	「権利擁護支援を必要とする人の特性と支援制度について学ぶ」
【3 日目】 9 月 7 日	9:30~16:00	松江市総合福祉 センター	「いつまでも自分らしく安心して暮らすために役立つ知識について学ぶ」

◆令和 6 年度松江市市民後見人等養成講座【実務編】 修了者 19 人

開催日	時 間	会 場	内 容
【1 日目】 11 月 2 日	9:30~14:05	松江市総合福祉 センター	・日常生活自立支援事業の復習 ・成年後見制度の復習 (任意後見契約概説を含む)

開催日	時 間	会 場	内 容
【2 日目】 11 月 16 日	9:30~15:45	松江市総合福祉 センター	・松江市の権利擁護施策について ・成年後見の実務 1（申立手続き） ・成年後見の実務 2（市民後見人になったら） ・成年後見の実務 3（財産管理など）
【3 日目】 11 月 23 日	9:30~15:15	松江市総合福祉 センター	・成年後見の実務 4 （身上監護とは・後見人等実務における意思決定支援のポイントについて） ・成年後見の実務 5（家庭裁判所への報告） ・成年後見の実務 6（後見事務の終了） ・当事者の声を聞く
【4 日目】 12 月 7 日	9:30~12:25	松江市総合福祉 センター	・成年後見等実務について （成年後見等実務に関する Q&A） ・市民後見人活動報告
【実習】 11 月 25 日 ～ 12 月 11 日	平日 約 3 時間		・日常生活自立支援事業の支援同行

※レポート作成（A4 用紙 1 枚程度）

テーマ①「体験実習レポート」 テーマ②「わたしが思い描く市民後見人像」

◆松江市市民後見人等養成事業の推移

市民後見人候補者バンク運営基準を満たした方にバンク登録の声かけをさせて頂き、今年度は新たに 11 人の方が登録されました。また、市民後見人候補者バンク登録者の中から家庭裁判所へ候補者を推薦した結果、新たに 1 人の方が市民後見人に選任されました。

なお、市民後見人のうち 1 人について被後見人の死亡により職務を終了したことから、令和 6 年度末時点において活動中の市民後見人は 7 人となりました。

（単位：人） ※人数は各年度末の状況

内 容	R2	R3	R4	R5	R6
基礎講座修了者	155	181	202	228	255
実務講座修了者	65	77	82	105	124
生活支援員登録者	42	47	62	74	73
生活支援員活動者	25	30	39	30	36
法人後見支援員登録者	7	7	13	16	15
法人後見支援員活動者	5	5	12	15	11
市民後見人候補者バンク登録者数	12	15	19	21	28
市民後見人受任者数	3	5	5	7	7

③後見人等支援業務

後見人等からの相談に応じるとともに、必要に応じて本人に身近な親族、福祉・医療・地域等の関係者によるチーム作りを支援することにより、後見人等を孤立させない支援体制を整備しました。

◆後見人等への引継ぎ

受任者調整会議を経て後見人等が決定した後に、後見人等が本人や親族、支援関係者と顔合わせや貴重品等の引継ぎを行うための会を随時開催しました。後見人等が、本人支援のための既存のチームにスムーズに合流し、後見業務を円滑にスタートさせることができるようにするため、ご本人の想いや課題等を整理して後見人へ伝えるなどの初動支援を丁寧に行いました。

◆支援チーム会議

支援困難なケースやチームが未形成のケースについては、必要に応じて後見人等と本人、親族、支援関係者などを集めた支援チーム会議を開催し、本人支援のためのチーム作りとチームの自立を支援しました。

年度	後見人支援チーム会議	延べ参加人数
R6 年度	31 回	217 人
R5 年度	51 回	298 人
R4 年度	55 回	340 人

◆後見人等モニタリングアンケートの実施

後見人の困り感を把握し、中核機関による後見人等支援のあり方をより適切なものにしていくことを目的にアンケートを実施しました。

アンケート結果については第 2 回権利擁護部会にて報告を行いました。

- ・期 間：令和 6 年 11 月 30 日～12 月 27 日
- ・対 象：受任者調整会議を経て選任された後見人等 51 名
- ・回答数：36 名（回答率 70.6%）

◆親族後見人等意見交換会

事業名	内 容
親族後見人さんのつどい (親族後見人等意見交換会)	●日 時 令和 6 年 12 月 12 日 (木) 14:00～15:30 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 参加者 4 名 趣 旨 ・親族後見人が抱えている悩み・ニーズをキャッチする。 ・親族後見人が気軽に立ち寄ることができ、また親族後見人同士で情報交換を行える場をつくる。 ・親族後見人が孤立しないように支え、ご本人の権利擁護の視点にたった後見活動を一緒に考え推進していく。 内 容 自己紹介、弁護士からの講話、フリートーク (悩みの共有、制度や後見実務に関する質問など)

事業名	内 容
	アドバイザー 法テラス島根法律事務所 弁護士 加藤 大介 氏

◆権利擁護従事者意見交換会

事業名	内 容
権利擁護支援者交流会	●日 時 令和 7 年 2 月 27 日（木）10:00～11:30 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 参加者 14 名 趣 旨 松江市内で地域の権利擁護支援活動に携わる市民後見人、日常生活自立支援事業の生活支援員、法人後見の支援員などの方々を対象として、日頃の活動に関する意見交換会や永年活動者への感謝状の贈呈式などを行うことで、今後の活動のための手がかりの発見やモチベーションの向上につなげる。

④広報・啓発業務

市民の皆様に松江市権利擁護推進センターの役割を知っていただくための広報活動を行いました。また、成年後見制度の理解と利用促進が図られるよう、市民の皆様を対象とする公開講座や地域に出向いての出前講座などを開催しました。専門職や関係機関に対しても、啓発および情報提供を行いました。

ア) 広報・啓発用ツールの作成

- ・社協だより（7 月、9 月、11 月、1 月号掲載）「成年後見制度講演会や市民後見人等養成講座の開催案内など」
- ・リーフレットのリニューアル 印刷部数：1,000 部
- ・機関紙「まもる」第 6 号（2,000 部）および第 7 号（1,500 部）の作成
- ・「まつえ権利擁護サポーター」養成講座配布用缶バッジ 作成個数：200 個

イ) 成年後見制度啓発ビデオの貸出及び上映

令和 3 年度に作成した成年後見制度啓発ビデオ「つばきさんの一生～つばきさんと成年後見制度～」は、今年度も地域の出前講座などで活用し、市民の皆様や関係機関等への貸し出しも行っています。また、前年度に引き続いて松江市立病院・松江赤十字病院においてもビデオを上映していただいております、ビデオで成年後見制度と当センターのことを知ったという市民の方からのご相談も増えてきています。

◆DVD 貸出先および用途

貸出先	用 途
山口県内の行政書士の方	地域の学習会にて使用したい。

ウ) 成年後見制度講演会・法と福祉のなんでも相談会の開催

成年後見制度の理解と周知を目的として、「ご存知ですか？成年後見制度～大切な人の生活と財産を守るための制度です～」をテーマに、成年後見制度の制度説明や具体的な活動

内容等の講演会及び相談会を開催しました。

あわせて、島根県弁護士会・法テラス島根法律事務所・地域包括支援センター共催による、「法と福祉のなんでも相談会」を同日開催しました。

◆成年後見制度講演会等

事業名等	内 容
成年後見制度講演会 (法と福祉のなんでも相談会)	●日 時 令和 6 年 6 月 8 日 (土) 13:30～15:00 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 大ホール 参加者 講演会：75 名、法と福祉のなんでも相談会：5 名 内 容 【成年後見制度講演会】 「ご存知ですか？成年後見制度 ～大切な人の生活と財産を守るための制度です～」 講師 法テラス島根法律事務所 弁護士 加藤 大介 氏 【なんでも相談会】 共催 島根県弁護士会、法テラス島根法律事務所、 地域包括支援センター

エ) 出前講座・研修会講師

成年後見制度が「その人らしい生き方を地域社会全体で支える身近なしくみ」として地域社会に正しく理解され受け入れられるためには、制度の前提となる「地域における権利擁護支援の意義」についても、市民の皆さまと共有することが大切だと考えています。地域の中で「権利擁護」を大切にしたい心を持つ人をひとりでも増やすことを目的として「まっつえ権利擁護サポーター養成講座」を実施しました。また、成年後見制度に関する出前講座、研修会の依頼にも対応しました。

◆出前講座・研修会実施状況

事業名等	内 容
松江市市民後見人等養成講座【基礎編】内で実施	●日 時 令和 6 年 8 月 24 日 (土) 会 場 市総合福祉センター 4 階 教養室 演 題 まっつえ権利擁護サポーター養成講座 参加者 30 名
松江市民生児童委員協議会 連合会 地域福祉部会研修	●日 時 令和 6 年 9 月 9 日 (月) 会 場 市町村振興センター 演 題 成年後見制度について 参加者 30 名
山陰言語聴覚士協会 令和 6 年度島根県介護人材 資質向上支援事業研修会	●日 時 令和 6 年 11 月 30 日 (土) 会 場 松江テルサ 演 題 権利擁護推進センターの紹介、権利擁護支援や成年後見制度について

事業名等	内 容
	参加者 30 名
社会福祉法人 しらゆり会 介護等講習会	●日 時 令和 7 年 1 月 23 日（木） 会 場 社会福祉法人しらゆり会統括事務局 2 階会議室 演 題 地域における権利擁護支援と市民後見活動について 参加者 40 名
島根県行政書士会松江支部 研修会	●日 時 令和 7 年 1 月 24 日（金） 会 場 城西公民館 演 題 成年後見制度 ～申立てから選任まで～ 参加者 12 名
松江市社協社会福祉士実習 生に実施	●会 場 松江市総合福祉センター内 演 題 まっえ権利擁護サポーター養成講座 回 数 計 7 回 参加者計 10 名

⑤地域連携ネットワークの構築

権利擁護推進センターでは、地域をはじめ、行政、司法、医療、そして各関係機関等との連携なくしては、適切な相談支援の実施は不可能であるとの実感を持っています。権利擁護部会は地域連携ネットワークづくりのための重要な場であると考えています。部会委員と成年後見制度や地域の権利擁護について意識を共有し、ネットワークがより充実することを目指して開催しました。

ア) 権利擁護部会の開催

事業名等	内 容
令和 6 年度 第 1 回 松江市セーフティネット会 議権利擁護部会 (地域連携ネットワーク協 議会)	●日 時 令和 6 年 7 月 11 日（木） 13 : 30～14 : 30 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 出席者 20 名 内 容 【報 告】 ・松江市権利擁護推進センターの令和 6 年度の実績報告 ①相談受付業務 ②利用促進業務 ③後見人等支援業務 ④広報・啓発業務 ・松江市権利擁護推進センターの令和 6 年度の事業計画及び進 捗状況 ①令和 6 年度事業計画

事業名等	内 容
	②令和 6 年度の取り組み状況（4 月～5 月） ③令和 6 年度の上半期の残りとは下半期に向けて ・質疑応答
令和 6 年度 第 2 回 松江市セーフティネット会 議権利擁護部会 （地域連携ネットワーク協 議会）	●日 時 令和 7 年 2 月 10 日（月） 14：00～16：00 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 内 容 前半：【報 告】出席者 16 名 ・松江市権利擁護推進センターの令和 6 年度の事業進捗状況 ①令和 6 年度事業進捗状況報告 ②令和 6 年度の取り組み状況（4 月～12 月） ③令和 6 年度の統括と令和 7 年度に向けて ・質疑応答 ・成年後見制度利用促進基本計画について （松江市健康福祉部 健康福祉総務課より） 後半：【協 議】出席者 30 名 ①課題提起「後見人等アンケート調査の結果報告」 ②身寄りがない方のチーム支援に関する事例発表 （松東地域包括支援センターより） ③アンケート結果及び事例発表をふまえたグループワーク

6. 介護保険関係事業の推進

高齢者が介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で人としての尊厳を保って生活できるよう、またできる限り在宅において自分の力で生活できるよう自立を支援するため、本会で運営する 4 つの介護センターにおいて、利用者ニーズを反映できるサービスが提供できるよう、介護や予防援助を必要とする高齢者の在宅生活を支援しました。

6-① 松江社協介護センターの経営

【総務課：松北事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として松江社協介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。

なお、令和 6 年度に職員体制が整わず（退職 1 名、宍道介護センター居宅介護支援事業へ異動 1 名）、8 月末に休止となり、令和 7 年 2 月末日をもって事業廃止としました。ケースについては一部を宍道介護センターで引継ぎ、その他については市内の他法人に引継ぎました。

◆松江社協居宅介護支援事業所職員体制

年度	職員数
R6 年度	2 名 (8 月末)
R5 年度	2 名
R4 年度	2 名

◆松江社協介護支援事業ケアプラン作成数

年 度	作 成 人 数	総 合	要 支 援		要 介 護					認 定 待 ち	相 談 延 人 数	訪 問 延 人 数
			1	2	1	2	3	4	5			
R6 年度	191	3	24	43	39	39	25	10	8	0	2,217	283
R5 年度	719	30	62	131	231	146	71	23	25	0	7,249	1,048
R4 年度	783	34	63	156	255	167	58	32	18	0	6,156	886

②訪問介護事業及び総合事業

訪問介護事業者及び総合事業事業者として松江社協介護センターにおいて、訪問介護員(ホームヘルパー)4 名(嘱託 2 名、パート 2 名)体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆松江社協訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R6 年度	1 名	1 名	2 名
R5 年度	2 名	1 名	4 名
R4 年度	2 名	1 名	4 名

◆松江社協訪問介護及び総合事業派遣実績 (人)

年度	総合	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
R6 年度	29	18	47	71	14	46	18	0	243
R5 年度	78	42	133	120	61	48	23	0	505
R4 年度	72	95	124	91	123	53	43	6	607

6-(2) 美保関介護センターの経営

【総務課：松東事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として美保関介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

◆美保関居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R6 年度	2 名
R5 年度	2 名
R4 年度	2 名

◆美保関介護支援事業ケアプラン作成数

年 度	作成 人数	総 合	要 支 援		要 介 護					認 定 待 ち	相 談 延 人 数	訪 問 延 人 数
			1	2	1	2	3	4	5			
R6 年度	751	0	113	166	209	140	80	41	2	1	2,483	935
R5 年度	814	20	95	194	305	111	50	37	2	0	3,437	1,011
R4 年度	826	22	78	179	245	179	95	23	5	0	3,291	1,127

②訪問介護事業及び総合事業

訪問介護事業者及び総合事業者として美保関介護センターにおいて、八束町、美保関町を対象に訪問介護員(ホームヘルパー)8名(嘱託2名、パート6名)体制により、身体上または精神上的の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆美保関訪問介護及び総合事業体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R6 年度	2 名	0 名	6 名
R5 年度	2 名	1 名	6 名
R4 年度	2 名	1 名	6 名

◆美保関訪問介護及び総合事業派遣実績 (人)

年度	総合	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
R6 年度	12	113	113	131	85	17	15	24	510

年度	総合	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
R5 年度	15	130	144	188	105	6	24	20	632
R4 年度	3	145	191	224	147	5	27	26	768

③通所介護事業及び総合事業

通所介護事業及び総合事業を「香梅の里」で実施しました。要介護又は要支援の状態の利用者に対し、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことのできるよう、必要な日常生活上の世話やレクリエーションをおこなうことにより、利用者の孤立感の解消及び心身の機能維持、並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

なお、事業財政面の悪化と松江市公共施設適正化計画における香梅の里の譲渡問題を踏まえ事業廃止の方向性で行政等各機関と協議し、地元への説明、他法人へのケースの引継ぎ、非正規職員の再就職等の調整をすすめ、美保関通所介護事業は令和 7 年 3 月末日をもって事業廃止としました。なお営業についてはケースの引継ぎが早期に完了したことにより令和 7 年 2 月末日をもって終了しました。

◆美保関通所介護及び総合事業体制（兼務有）

年度	生活相談員	看護職員(機能訓練)	介護職員
R6 年度	2 名	3 名	7 名
R5 年度	2 名	3 名	7 名
R4 年度	2 名	3 名	8 名

◆美保関通所介護事業

年 度	年度未実 利用者数	稼働日数	年間延 利用者数	年間延入浴 利用者数	年間延食事 利用者数	一日平均 利用者数	3h～4h(人) 通所介護	4h～5h(人) 通所介護	5h～6h(人) 通所介護	6h～7h(人) 通所介護	7h～8h(人) 通所介護
R6 年度	3	219	2,205	2,135	2,205	10.0	0	4	16	103	2,082
R5 年度	25	256	2,821	2,707	2,821	11.0	2	2	3	258	2,556
R4 年度	21	250	2,582	2,481	2,582	10.3	7	5	7	360	2,203

◆美保関総合事業

年 度	年間 利用者数	稼働日数	年間延 利用者数	年間延入浴 利用者数	年間延食事 利用者数	一日平均 利用者数	総合事業	通所介護Ⅰ 介護予防	通所介護Ⅱ 介護予防
R6 年度	10	219	399	248	399	1.8	15	113	271
R5 年度	18	256	532	392	532	2.0	24	196	312
R4 年度	16	250	537	372	453	2.1	67	123	347

④美保関介護センター地域貢献事業なごやかで買い物ツアー

美保関・雲津地区で買い物に困っている住民に対し、令和元年10月より美保関介護センターの福祉車両を活用した商業施設への移送・買い物支援を実施しました。毎月第3金曜日に買い物ツアーを実施し、計12回の実施で延べ46人（実人数4人）の参加があり、生活の質の向上や介護予防に対する一定の効果が得られました。令和6年度をもって通所介護事業廃止に伴い、事業も終了となりました。

6-(3) 松南介護センターの経営

【総務課：松南事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として松南介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。（要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託）

◆松南居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R6年度	2名
R5年度	2名
R4年度	2名

◆松南介護支援事業ケアプラン作成数 (人)

年 度	作成 人数	総合 事業	要 支 援		要 介 護					認定 待ち	相談 延人数	訪問 延人数
			1	2	1	2	3	4	5			
R6年度	853	72	52	145	290	186	38	47	23	1	5,278	1,403
R5年度	801	68	79	184	254	131	26	35	24	0	5,217	1,496
R4年度	760	37	53	163	256	143	37	55	16	1	4,876	1,390

②訪問介護事業及び総合事業

訪問介護事業者及び総合事業事業者として松南介護センターにおいて、訪問介護員（ホームヘルパー）7名（嘱託1名、パート6名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

なお、年度末にサービス提供責任者の退職をはじめとした職員の退職希望があったことから、7年度からは職員体制が整わず配置基準が満たせない状況とるため、ケースについて他法人

への引継ぎ等の調整をすすめ、松南訪問介護事業は令和 7 年 3 月末日をもって事業廃止としました。

◆松南訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R6 年度	1 名	0 名	6 名
R5 年度	1 名	0 名	6 名
R4 年度	1 名	1 名	6 名

◆松南訪問介護及び総合事業派遣実績 (人)

年度	総合	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
R6 年度	12	88	107	43	39	12	0	0	301
R5 年度	48	103	164	72	25	15	9	0	436
R4 年度	54	74	186	65	36	0	12	1	428

6-(4) 宍道介護センターの経営

【総務課：湖南事業所】

①居宅介護支援事業

宍道居宅介護支援事業者として主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

◆宍道居宅介護支援事業所体制 (令和 6 年 4 月～8 月まで 1 名体制、9 月から 2 名体制)

年度	職員数
R6 年度	2 名
R5 年度	2 名
R4 年度	2 名

◆宍道介護支援事業ケアプラン作成数 (人)

年 度	作 成 人 数	総 合 事 業	要 支 援		要 介 護					認 定 待 ち	相 談 延 人 数	訪 問 延 人 数
			1	2	1	2	3	4	5			
R6 年度	574	41	37	69	138	183	57	12	37	0	1,746	713
R5 年度	707	76	38	71	228	185	55	23	31	0	1,372	954
R4 年度	803	80	57	62	253	225	49	54	23	0	1,351	1,091

②訪問介護事業及び総合事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として宍道介護センターにおいて、訪問介護員

(ホームヘルパー)6名(嘱託1名、常勤1名、パート4名)体制により、身体上または精神上的の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆宍道訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R6年度	1名	1名	4名
R5年度	1名	1名	6名
R4年度	1名	1名	6名

◆宍道訪問介護及び総合事業派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
R6年度	26	42	75	52	40	15	21	20	291
R5年度	18	134	144	44	15	40	7	0	402
R4年度	0	142	171	52	60	12	32	0	469

6-(5) 介護センターの研修等の推進

【総務課】

①介護支援専門員資質向上事業(ケアマネ更新研修等)

介護支援専門員の資質の確保・向上を図るために、介護支援専門員証の更新制度(5年更新)が設けられており、松江市社協内の介護支援専門員資格者が下記の介護支援専門員研修に参加しました。

◆ケアマネ更新研修等参加状況

年度	専門Ⅰ	専門Ⅱ	主任	主任更新	更新	計
R6年度	2	2	2	1	1	8
R5年度	2	6	2	2	4	16
R4年度	5	4	2	5	4	20

②訪問介護員内部研修

日頃研修機会の少ない訪問介護員の資質向上を図るため、以下の研修に参加しました。

事業名等	内 容
訪問介護員研修	●日 時 令和6年11月14日(木) 会 場 松江市総合福祉センター 2階 身障者研修室 参加者 24名 内 容 介護対象者へのハンドマッサージ法

③居宅介護支援専門員内部研修

社協内居宅介護支援事業所の情報共有及び資質向上を図るため、以下の研修に参加しました。

事業名等	内 容
居宅介護支援研修	●日 時 令和 6 年 8 月 23 日（金） - 会 場 松江市総合福祉センター 1 階 会議室 - 参加者 8 名 - 内 容 業務継続計画（BCP）に係るシミュレーション訓練体験

④介護センター内部合同研修

居宅介護支援事業、訪問介護事業の職員が以下の研修に参加しました

事業名等	内 容
合同研修	●日 時 令和 6 年 11 月 14 日（木） - 会 場 松江市総合福祉センター 2 階 身障者研修室 - 参加者 居宅介護支援事業 7 名 訪問介護事業 17 名 合計 24 名 - 内 容 虐待防止と身体拘束防止 (介護労働安定センター提供 動画視聴) ●日 時 令和 7 年 3 月 14 日（金） - 会 場 松江市総合福祉センター 1 階 会議室 - 参加者 居宅介護支援事業 7 名 訪問介護事業 5 名 合計 12 名 - 内 容 非常時災害対応の机上訓練について (日本介護支援専門員協会資料提供)

6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託

【総務課】

島根県より事務受託法人として指定を受け、介護保険法に基づく要介護認定のための新規・更新・変更申請者に対する訪問調査事業を松江市より受託し、介護支援専門員の資格を持つ職員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

新規・変更は概ね予測通り、更新に関しては予測の 8 割程度の申請でした。

◆介護認定訪問調査事業体制

年度	正規	嘱託	パート
R6 年度	2 名	18 名	2 名
R5 年度	2 名	18 名	4 名
R4 年度	2 名	17 名	4 名

◆調査件数

(件)

年度	在宅	施設	合計
R6 年度	5,055	4,128	9,183
R5 年度	6,533	4,795	11,328
R4 年度	5,021	3,791	8,812

ア) 介護認定調査員の資質の向上

認定調査員調査内容の精度を上げるなど資質の向上を目的に、下記の研修を行いました。

◆調査員研修

事業名等	内 容
【松江市主催】 第 1 回 松江市認定調査員研修	●日 時 令和 6 年 8 月 26 日(月) - 内 容 ・松江市の介護保険状況について 認定係 原保健師 ・講義：『高次脳機能障害について』～コーディネーターの立場から～ ・講師：松江青葉病院 精神保健福祉士 仲西秀之氏 ・協力：認定係 細田係長、原保健師、熱田さん、舟木さん - 参加者 18 名
第 2 回 松江市認定調査員研修	●日 時 令和 7 年 1 月 29 日(水) - 内 容 ・松江市の認定状況について 認定係 細田係長 ・講義：2024 年度 認定調査員現任研修 ・講師：奥住浩代氏 (SEO 財団 福祉サービス評価機構) ・協力：認定係 細田係長、原保健師、熱田さん、舟木さん - 参加者 19 名
【社協内部研修】 社協認定調査員研修	●日 時 令和 6 年 5 月 29 日(水) - 内 容 ・個人情報保護について ・苦情・事故・ヒヤリハットの予防について ・認定係との項目目合わせ結果の報告 - 担 当 認定調査員室 班長 寺本 - 参加者 21 名

イ) 他市町村からの介護認定訪問調査の受託

松江市に在住する被保険者で、保険者が松江市外の方について(住所地特例など)は市内居宅介護支援事業所が訪問調査業務を受けない現状があり、他市町村から調査を受託し、調査員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

◆他市町村から調査を受託件数

年度	件数
R6 年度	35
R5 年度	20
R4 年度	10

7. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進

障害者総合支援法に基づき、障がいのある方の自己決定を尊重し、自立した生活を営むことができるよう、本会で運営する 4 つの介護センターで居宅介護サービスを提供し、在宅生活での支援を行いました。

また、3 つの介護センターにおいて視覚障がい者の外出援助として同行援護サービスを実施し 1 つの介護センターにおいてその他の障がいがある方の移動支援サービスを実施しました。

7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

①松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松北事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	実 働 ヘル パー 数	サービス提供 時間	平均利用時間
R6 年度	534 回	3 人	4 名	448 時間 30 分	50 分
R5 年度	649 回	3 人	6 名	539 時間 30 分	50 分
R4 年度	668 回	4 人	7 名	540 時間 30 分	50 分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	実 働 ヘル パー 数	サービス提供 時間	平均利用時間
R6 年度	28 回	5 人	3 名	83 時間 40 分	3 時間 0 分
R5 年度	10 回	2 人	6 名	33 時間 30 分	3 時間 21 分

年 度	派遣 回数	実 利用 者数	実 働 ヘル パー 数	サービス提供 時間	平均利用時間
R4 年度	23 回	4 人	7 名	62 時間	2 時間 40 分

②美保関障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松東事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者数	実 働 ヘル パー 数	サービス提供 時間	平均利用時間
R6 年度	880 回	11 人	7 名	732 時間 00 分	50 分
R5 年度	734 回	9 人	8 名	680 時間 00 分	55 分
R4 年度	778 回	12 人	9 名	829 時間 00 分	1 時間 04 分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者数	実 働 ヘル パー 数	サービス提供 時間	平均利用時間
R6 年度	34 回	1 人	7 名	49 時間 30 分	1 時間 30 分
R5 年度	35 回	1 人	8 名	50 時間 00 分	1 時間 25 分
R4 年度	34 回	2 人	6 名	55 時間 30 分	1 時間 40 分

③松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

【総務課：松南事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者数	実 働 ヘル パー 数	サービス提供 時間	平均利用時間
R6 年度	357 回	3 人	7 名	326 時間 45 分	55 分
R5 年度	77 回	1 人	7 名	61 時間 15 分	48 分
R4 年度	146 回	1 人	7 名	94 時間	40 分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。またその他の障がい者の外出支援について松江市地域生活支援事業の事業所指定を受け移動支援事業を行いました。

◆業務実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者数	実 働 ヘル パー 数	サービス提供 時間	平均利用時間
R6 年度	30 回	1 人	7 名	50 時間 0 分	1 時間 40 分
R5 年度	31 回	2 人	7 名	78 時間 30 分	2 時間 31 分
R4 年度	8 回	3 人	3 名	10 時間 30 分	1 時間 20 分

なお、訪問介護事業の廃止にあわせ松南障がい者居宅介護事業・同行援護事業は令和 7 年 3 月末日をもって事業廃止としました。移動支援事業については実績がここ数年ない状況でしたが、移動支援事業の拠点を美保関介護センターとし令和 7 年度より新規に事業所申請をすることとしています。

④宍道障がい者居宅介護事業

【総務課：湖南事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者数	実 働 ヘル パー 数	サービス提供 時間	平均利用時間
R6 年度	413 回	4 人	6 人	330 時間 51 分	48 分
R5 年度	489 回	5 人	6 人	444 時間 45 分	54 分
R4 年度	732 回	10 人	9 人	888 時間 00 分	1 時間 10 分

8. 児童福祉サービスの推進

8-1) 児童センター等の受託運営

【総務課：松南事業所】

①八雲児童センター運営事業

0歳から18歳までの子どもとその家族がいつでも来館でき、自由に楽しむことができる施設として、児童センター「どんぐり館」の運営を、市からの指定管理者として行いました。

◆利用実績

(延べ人数)

年度	0～6歳	小学生	中高生	大人	合計
R6年度	1,616人	879人	20人	2,708人	5,223人
R5年度	1,166人	591人	9人	2,813人	4,579人
R4年度	1,153人	303人	6人	2,860人	4,322人

新型コロナウイルス感染症は、「5類感染症」に位置づけられましたが、引き続き感染症に留意しながら、年間計画に沿って行事を実施しました。前年度と比較して利用者数は、644名の増加となりました。他の施設等との連携を図り多様な行事を行いました。

・行事内容

絵本とあそぼう会（年5回）、ファミリーサークル（年11回）、わいわいサロン（年6回）

まあまるうむ（年6回）、布のおもちゃ作り（年11回）、表現ワークショップ（年1回）

わらリズム（年2回）、親子お楽しみ会（年8回）、音楽コンサート（年4回）

お月見会（年1回）、幼児救急法（年1回）

②八雲児童・子育て事業

子育て中の親が抱える子育て不安を軽減するために、在宅の親とその子どもを対象に、地域での多様な活動を通じて子育てを楽しみ、仲間作りを行うことを目的として、子育てサロン「星キラくらぶ」を実施しました。

事業名等	内 容
子育てサロン 「星キラくらぶ」	●回数 32回 会場 八雲児童センター 参加者 274人（親子）

子育てサロンの活動を支えるお母さんたちのグループ「星キラママ」は、就労される母親の増加や、幼稚園児の減少により参加者が減少していることもあり、地域の高齢者の方にも参加を呼びかけ実施しました。

事業名等	内 容
子育てサロン 「星キラママ」	●回数 18回 会場 八雲児童センター 参加者 154人（高齢者の方を含む） 型染め遊び、表現ワークショップ、コンサート等

8-(2) こども食堂の取り組み

【地域福祉課】

こどもや貧困世帯に限らず、誰もが「食」を通じて交流することができるこども食堂は地域の居場所として松江市でも広がっております。

松江市社協が把握するこども食堂は、令和3年度末時点では4か所でしたが、令和4年度末時点で13か所まで増加し、令和5年度末時点では19か所となり、令和6年度末には26か所となりました。

各地区のCSWがこども食堂の立ち上げや運営支援を行うことと並行して、全市的なこども食堂の支援として企業等への働きかけにも力を入れて取り組みました。

企業等から寄贈いただいた食品や物品は、市内こども食堂代表者へメール配信を行うなど、間接的な運営支援も行っております。

また、市内こども食堂の周知を進めるべく企画に賛同した10か所のこども食堂の紹介パネルを作成し、地域共生フォーラムにあわせてパネル展示を行いました。今後パネルデータを利活用しホームページへの掲載や寄付者へのお礼の品となるフォトブックの作成を予定しております。

9. 福祉施設等管理運営事業の受託

9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業

【総務課】

市からの指定管理者として管理運営を行い、市民の福祉活動の拠点としてご利用いただきました。

施設設備の老朽化が著しく、令和6年度は松江市の直接執行により、消防設備等検査において指摘された4階避難器具、避難用扉取替、1・2階吹き抜け、4階のホワイエ排煙窓及び非常用滑り台の修繕のほか、1階倉庫の雨漏り修繕が実施されました。

新型コロナウイルス感染症による行事等の自粛がなくなったことや空調設備更新により快適に過ごせるようになったこともあり、全体的に貸館件数、利用者ともに増加傾向が見られ、利用料収入も前年度に比べ増加しました。

◆開館実績：令和6年度 359日 9:00～21:00（日曜 9:00～17:00、祝日 9:00～18:00）

年度	施設利用人員
R6年度	29,765人
R5年度	25,748人
R4年度	23,150人

9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業

【総務課:湖南事業所】

屋内ゲートボール場「すぱーく宍道」は、地域の皆様の交流の場、生涯スポーツの拠点として、練習はもとより各種大会や福祉施設のお祭りや運動会など市内外の方々の利用がありました。

建物管理として、本年度は消防用設備の修繕と消火器の更新を行いました。

◆利用実績

年度	利用件数	時間数	利用人員（延べ）
R6年度	132件	533時間	2,791人
R5年度	137件	512時間	2,628人
R4年度	146件	518時間	2,609人

9-(3) 美保関高齢者生活福祉センター(香梅の里)管理運営事業

【総務課：松東事業所】

市からの指定管理者として自主事業である介護センター事業を中心に施設の管理運営を行いました。令和6年度末をもって通所介護事業を廃止することに伴い、令和7年度からは指定管理者でなくなるため、香梅の里については松江市の管理となります。

◆主な活動事業

事業名	年間回数	備考
美保関地区高齢者クラブ会議	1回	

10. 「地域共生社会の実現に向けた」地域づくり推進

10-(1) 重層的支援体制整備事業

【地域福祉課】

令和3年度から国の新たな事業として重層的支援体制整備事業が始まりました。

各包括エリアにおいて、CSWと地域包括支援センター相談員がチームとしての連携を強化し、社協内各課の横断的な協働支援、さらに公民館、地区社協、社会福祉法人・企業・NPO法人等とともに、「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に展開し、誰も取りこぼすことのないつながりのある包括的支援体制の構築に向け取り組みました。

①多機関協働事業

①-1 相談支援事業（相談の受けとめ）

ア) ふくしなんでも相談所の相談対応

市民の皆様の身近なご相談（悩みごと）をお受けし総合的にサポートするとともに、周知活動を行いました。

◆周知活動

○ふくしなんでも相談所ちらし、カード：市内薬局、民協、地区社協、公民館他に配布

◆相談件数

年度	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
相談件数	277件	280件	291件	359件

◆相談内容

内容	介護	家庭	体心	住まい	経済	孤立	子育て	就労	権利	近隣	地域	他	計
R6	80	26	42	30	47	33	6	15	4	18	32	59	392
%	20.4	6.6	10.7	7.7	12.0	8.4	1.5	3.8	1.0	4.6	8.2	15.1	100

イ) 福祉総合相談システム（相談管理システムゆめと）の活用

システムを導入し、受けた相談の一元管理を行いました。

ウ) ふくしなんでも相談所窓口の拡充

松江市社会福祉法人連絡会に参加している 9 つの社会福祉法人が各事業所に 20 か所の「ふくしなんでも相談窓口」を、市内の薬局 13 か所が「ふくしなんでも相談所連携薬局」を令和 4 年 4 月から設置しました。担当分野にとらわれない福祉の相談を受け付け、各専門機関やふくしなんでも相談所につながりました。(令和 7 年 1 月以降相談連携薬局 10 か所)

年度	R6 年度
社会福祉法人受付件数	3 件
連携薬局受付件数	3 件

エ) 民間企業との連携

ふくしなんでも相談所の出張版として、イオンリテール株式会社との連携によりイオン松江ショッピングセンターを会場に「ふくしなんでも相談所 in イオン松江」を第 3 火曜日に 11 回開催し、26 件の相談を受け付けました。

オ) 社協内相談機関連絡会議

毎月第 4 水曜日に事務局長、各課長、各係長が参加し、ふくしなんでも相談や、社協内の各相談機関での相談内容や支援状況を把握し、課題解決に向けた進捗管理を行いました。

カ) 対策会議の開催

社協としてケースにどう関わり、どう支援を組み立てていくのかを検討する対策会議を開催しました。例えば、複合的な課題を抱え、各課を超え検討が必要なケースや既存のサービスや制度では解決できないケースなどについて検討しました。

(開催回数 6 回 検討ケース実数 7 件)

キ) スキルアップ研修の開催

社協職員全員がふくしなんでも相談所の相談員として、総合相談機能の強化を図るため、社協職員として、総合相談に必要な知識を学び、スキルアップを図りました。またふくしなんでも相談所を実施する社会福祉法人の職員にも受講をしていただきました。

時期	受講者数	テーマ	講師
7 月 31 日	72 人	障害福祉制度	松江市障がい者福祉課 給付係長 仲田裕朗 氏 障がい者福祉係長 村田修治氏
9 月 20 日	72 人	障害福祉制度②	相談支援事業所 よもぎ 曳野由季子 氏

時期	受講者数	テーマ	講師
			相談支援事業所 わこう 福田 誠 氏
12 月 3 日	86 人	ケアを始めるための対話スキル	臨床心理士・公認心理士 荒川ゆかり 氏
2 月 21 日	63 人	急性期病院について	松江赤十字病院 医療社会事業部 奥 公明 氏

①-2 重層的支援会議・支援会議の運営

ア) 重層的支援会議・支援会議の開催

学識経験者、弁護士、臨床心理士を助言者として、会議を開催しました。8050 世帯の対応、ごみ屋敷問題、ひきこもりの参加支援へのつながりなど継続事例の評価や支援の協議を行いました。支援会議を活用することで本人同意を得ることは難しい事例について検討することができました。

◆重層的支援会議等

開催日	重層的支援会議	支援会議
令和 6 年 8 月 29 日	0 件	3 件（評価）
令和 7 年 1 月 24 日	0 件	3 件（評価）

※支援会議とは：個人情報同意が得られないケースについて、社会福祉法 106 条 6 に基づき、会議構成員に守秘義務を設け、支援を検討する会議をいいます。

①-3 セーフティネット会議（各部会の活動）

地域共生社会の実現をめざして、高齢者だけでなく、障がいのある方や子どもなどへの支援や地域住民が抱える多様で複合的な課題にも対応する包括的な支援体制の構築が求められています。地域全ての市民が住み慣れた地域で安心して生活ができる社会の実現に向け、生活課題の解決に関係機関が連携し包括的に対応するため、部会を設置して開催しました。

事業名等	内容
セーフティネット 会議 生活困窮部 会 第 1 回	●日 時 令和 6 年 7 月 25 日（木） 内 容 令和 5 年度事業報告及び令和 6 年度事業計画 事例検討（グループワーク）
セーフティネット 会議 生活困窮部 会 第 2 回	●日 時 令和 7 年 1 月 30 日（木） 内 容 令和 6 年度事業中間報告 困難ケース紹介 事例検討（グループワーク）
セーフティネット 会議 権利擁護部	●日 時 令和 6 年 7 月 11 日（木） 内 容 令和 5 年度実績報告及び令和 6 年度事業計画

事業名等	内容
会 第 1 回	
セーフティネット	●日 時 令和 7 年 2 月 10 日（月）
会議 権利擁護部	内 容 後見人等アンケート調査の結果報告
会 第 2 回	身寄りがない方のチーム支援に関する事例発表 アンケート結果及び事例発表をふまえたグループワーク

②アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

長期にわたりひきこもりの状態にあるなど、複雑化・複合化した支援ニーズをかかえながらも必要な支援が届いていない人や、支援につながることに拒否的な人の相談が入るよう、民生児童委員、地区社会福祉協議会、福祉推進員、居宅介護支援事業所等関係機関への事業周知を行いました。相談を受け付けた後は、本人と関わるためのきっかけや切り口の検討、本人に会う前の事前調整を行い、関係構築に向けた継続的な働きかけを行いました。（アウトリーチ件数：82 件【新規 27 件、継続 55 件】）

また、今年度より、松北地域包括支援センターエリアと協働し、「新たな居場所づくり ようこそ、ござっしやい☆ふらっと☆」を立ち上げました。

③参加支援事業

既存の社会参加に向けた事業では対応できない狭間の個別ニーズに対応するため、本人のニーズ・希望と地域の資源との間の調整を行いながら支援しました。

ひきこもりの方や就労の意欲があってもうまくいかない方が社会に踏み出す一歩として、協力団体への要請、個々のニーズに合わせたプラン作成に取り組みました。重層的支援会議・支援会議に諮った支援プランは 1 件でしたが、CSW や担当職員が地域の社会資源等につなげるなどの支援を行いました。（社会資源等へのつなぎ支援件数：19 件【新規 16 件、継続 3 件】）

地区社会福祉協議会関係者、民生児童委員、福祉推進員、孤立をなくす取り組みに関心を持つ人を対象に、講演会を開催しました。

- ・日 時 令和 7 年 1 月 25 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分
- ・会 場 島根県民会館 中ホール
- ・演 題 地域で育むこどもの未来～映画「さとにきたらええやん」から考える～
- ・参加者 150 名

④地域づくりに向けた支援（すこやかライフ推進事業）

「2・(2)④地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）」をご覧ください。

11. 災害支援

11-(1) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

災害発生した際に、速やかに災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者本位の支援活動が行えるよう、運営スタッフのスキルや経験値の向上や、協力団体や地域との連携のため災害ボランティアセンターを理解していただくことを目的に県社協の協力のもと立ち上げ訓練を実施しました。

事業名等	内 容
災害ボランティアセンター立ち上げ訓練	●日 時 令和 7 年 2 月 18 日（火）10:00～15:30 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 大ホール及び教養室 参加者 ライオンズクラブ、市内社会福祉法人、公民館、地区社協、松江市職員、県社協職員、松江市社協職員 52 名 内 容 【講演・ワーク】 「災害ボランティアセンターにおける地域住民・他機関等との協働について」 講師 日野ボランティア・ネットワーク代表 山下 弘彦 氏 【演習・まとめ】 「災害ボランティアセンター運営訓練（ロールプレイ）」 松江市北部（法吉地区、城北地区、鹿島地区）に大雨災害あったと想定し、参加者全員が、各班運営スタッフ、ボランティア、被災者等に分かれて役割を演じ運営訓練を行う。 終了後各役割別にふりかえりをし、山下氏に総評をいただいた。

11-(2) 災害ボランティアセンター運営等に関わる研修

事業名等	内 容
運営マネジメント研修	●日 時 令和 6 年 9 月 17 日（火）10:00～15:30 （1 回目） 令和 6 年 11 月 6 日（水）10:00～15:30 （2 回目） 会 場 くにびきメッセ 小ホール 参加者 総務課長、総務課長補佐 内 容 【講義】 ○被災地のリアル ～能登半島地震を例に実際に置かれる状況を知る～ ○社協の事業継続計画（BCP）について ○事業継続計画（BCP）をつくるにあたって ○なぜ社協が被災者支援を行うのか ～法人全体での視点で～ 【グループ討議】 ○BCP 策定の視点で、組織内で必要性をどう共有するか考える ○BCP を踏まえた災害 VC 初動体制の備えとしてできること ○BCP 策定あるいは組織内での備えにおいて、今後できること 講師 オフィス園崎代表 園崎 秀治 氏

11-(3) 能登半島地震災害ボランティアセンター支援派遣

①能登町及び輪島市災害ボランティアセンターへの職員派遣

- 派遣期間 ①令和 6 年 5 月 2 日（木）～令和 6 年 5 月 8 日（水）
②令和 6 年 6 月 3 日（月）～令和 6 年 6 月 9 日（日）
③令和 6 年 6 月 15 日（土）～令和 6 年 6 月 21 日（金）
④令和 6 年 8 月 2 日（金）～令和 6 年 8 月 8 日（木）
⑤令和 6 年 8 月 26 日（月）～令和 6 年 8 月 29 日（木）台風に伴う日程短縮

○派遣先 ①～③ 石川県能登町 ④～⑤ 石川県輪島市

○派遣人数 ①～④ 各 1 名 ⑤ 2 名 計 6 名

○活動内容 災害ボランティアセンターの運営スタッフとして、ボランティアの受付や送り出し、被災者のニーズ調査、マッチング、資機材の整理や受渡しの業務に携わりました。

松江市社会福祉協議会 職員数

令和7年3月31日

所属		正規職員 専務含む	継続雇用 職員	嘱託 職員	臨時 職員	パート 職員	計
専務理事		1					1
常務理事 兼 事務局長		1					1
総務課	課長	1					1
	総務係	4		2		4	10
	経営企画係（松東事業所駐在含）	3	1	2	1		7
	松北事業所 （松江社協介護センター）			2		3	5
	松東事業所（美保関介護センター）		1	6	2	6	15
	松南事業所（松南介護センター）			3		6	9
	松南事業所（八雲児童センター）			2		3	5
	湖南事業所（宍道介護センター）			5	1	4	10
	介護認定調査	2	2	16		4	24
地域福祉課	課長	1					1
	地域福祉係 （ボランティアセンター兼務）	4		3			7
	地域福祉係（地域福祉 ST 駐在）	6		1			7
生活支援課	課長	1					1
	生活支援係	3		3			6
	くらし相談支援センター	5		4			9
	権利擁護推進センター	2	1	7			10
地域包括ケア推進課	課長	1					1
	地域包括ケア推進係	1	1	1			3
	地域包括支援センター	24	7	18		1	50
	在宅医療・介護連携支援センター	1		2			3
合計		61	13	77	4	31	186

以上の事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書はない。